

令和 7 年 度
(2025年度)

事 業 年 報



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

青森県支部

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

赤十字基本原則

(1965年ウィーンで開催された第20回赤十字国際会議において採択)

人 道 赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間を尊重することを確保することにある。赤十字はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

公 平 赤十字は国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦の場合を優先的に取り扱う。

中 立 すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字は戦闘行為の時、いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教または思想的性格の闘争には参加しない。

独 立 赤十字は独立である。各国赤十字社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字の諸原則に従って行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉 仕 赤十字は利益を求めない奉仕的救護組織である。

単 一 いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性 赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

は じ め に

赤十字事業の推進につきましては、日頃から県民の皆様並びに地区・分区をはじめとする関係者の皆様に深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年から今年にかけて、日本各地では多くの自然災害に見舞われておりますが、中でも、昨年12月の青森県東方沖、さらに今年4月に三陸沖でそれぞれ発生した地震では、広範囲にわたって津波警報や後発地震注意情報が発表されました。このことは、広域災害に備えた実効性のある計画の重要性を示すものであり、これに応えるため、日本赤十字社では発災後の応急対応の充実・向上に努め、災害への対応力を高めるための平時からの備えとして、救護員のさらなる実践力の向上や、地域における赤十字防災セミナーや救急法等の講習普及の推進に取り組んでいます。

一方、国外においても、武力紛争や大規模な自然災害、感染症の蔓延などによる人道危機への対応、赤十字国際委員会や国際赤十字・赤新月社連盟、世界各国の赤十字社・赤新月社と連携し、救援・復興活動に尽力しています。

これら国内外における活動は、赤十字の活動に心を寄せ、さまざまな形でご支援・ご協力をいただいている皆様によって支えられております。「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命のもと、その思いを胸に刻みながら、令和9年に迎える創立150周年を見据え、今後も総合力を生かした活動を一層進めていきます。

地球環境、国際情勢、人口構造、技術革新などの大きな構造変化の中にあって、私たちは「目の前の苦しんでいる人を救う」という、赤十字の誕生以来変わらず守り続けてきた理念を実現していかなければなりません。当支部といたしましても、引き続き、支部、八戸赤十字病院、青森県立はまなす医療療育センター及び青森県赤十字血液センターが連携を深め、それぞれが有する資源と機能を最大限に活用しながら、多様な視点と柔軟な発想をもって赤十字活動を積極的に推進していきます。

活動を支えていただいている皆様におかれましては、今後とも「力強い柱」として、引き続き当支部への変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年6月

日本赤十字社青森県支部

支部長 宮下 宗一郎

目次

巻頭言

I 赤十字事業

1. 災害救護事業	1
2. 看護師養成事業	12
3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業	13
4. 赤十字奉仕団	15
5. 青少年赤十字	21
6. 国際活動	30
7. 社会福祉事業	32
8. 医療事業	34
9. 血液事業	36

II 活動資金募集と赤十字思想の普及

10. 活動資金の募集状況及び会員の現況	41
11. 赤十字思想の普及と広報活動	45
12. 青森県赤十字有功会	52

III 評議員会及び決算等

13. 評議員会及び監査	54
14. 令和7年度一般会計・特別会計決算報告	56
15. 支部役員・評議員	59

日本赤十字社長期ビジョン	60
--------------	----

日本赤十字社の組織と機構	61
--------------	----

日本赤十字社青森県支部現勢	62
---------------	----



1. 災害救護事業

災害救護活動は、赤十字本来の使命に基づく活動であるばかりでなく、日本赤十字社には災害救助法や災害対策基本法等で国及び地方自治体の防災・救助業務への協力が義務付けられている。

当支部では、常に災害に備えて救護員を養成し、訓練、研修を重ねている。そのほか、救護資材を整備し、救護体制を万全にするように努めている。

(1) 救護業務

① 災害に対する救援物資等の交付

県内で発生した火災（火災災害）、水害等の被災者に対して、見舞い品として毛布や緊急セットを交付基準に基づき交付している。また、県内で発生した災害により死亡した県内在住の被災者には香花料を交付している。

② 災害救援物資交付状況

品 名	数 量
毛 布	139
緊 急 セ ャ ッ ト	122

(救援物資の市町村別交付状況は、8、9 ページ参照)

③ 青森県東方沖地震災害に対する支部の対応

発災直後、第一次救護体制で県と連携を取りながら情報収集を開始。地震による火災発生に対して災害救援物資を交付。人的被害は局所的で大きなものが無かったため、救護班出動は行われていない。ただし、県からの要請をうけて八戸赤十字病院DMA Tが出動し、むつ総合病院から大間病院へ患者を1名搬送した。また12月24日～1月30日の期間で災害義援金の対応が行われた。

(2) 国内災害義援金受付状況

区 分	受付件数(件)	受付金額(円)
令和6年能登半島地震災害義援金	144	2,323,932
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	108	289,916
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	85	1,043,227
令和7年トカラ列島近海地震災害義援金	60	137,093
令和7年台風第8号に伴う災害義援金	37	95,860
令和7年8月6日から的大雨災害義援金	65	119,151
令和7年台風第12号災害義援金	25	21,112
令和7年台風第15号災害静岡県義援金	23	81,586
令和7年台風第22号及び第23号災害義援金	25	141,015
令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金	38	123,473
令和7年青森県東方沖地震義援金	79	42,264,618
合 計	689	46,640,983

(3) 災害救護の体制及び救護班の訓練・研修

① 救護班の常備組織

災害が発生した場合、その規模に応じて災害地に救護班を派遣して被災者の医療救護にあっている。当支部では八戸赤十字病院に7個班及び支部、はまなす医療療育センター、血液センターの混成で1個班、計8個班を編成している。

令和7年度は、日赤本社の救護班編成基準（※）に基づいて、第1～7班は薬剤師、第8班は主事を加え、各班7人編成とした。

職 種 区 分	医 師 (班長) (人)	看護師長 (人)	看 護 師 (人)	主 事 (人)	薬剤師 or 助産師 (人)	計 (人)
1個班の編成基準(※)	1	1	2	2	(1)	6(7)
常備要員	8	8	16	17	7	56

② 各種訓練への参加状況

医療救護班等の訓練ため、次のとおり各種訓練に参加した。

- ・青森県原子力防災訓練（野辺地町）
- ・あおり酷暑期・積雪期避難所演習（弘前市）
- ・災害対策本部健康福祉部図上訓練
- ・国民保護共同図上訓練
- ・東北管区広域緊急援助隊合同訓練（青森市）
- ・八戸市総合防災訓練
- ・日赤第1ブロック支部合同災害救護訓練（男鹿市）（担当：秋田県支部）

③ 赤十字救護班に対する研修の実施

近年、救護をめぐる概念や、方法論は目まぐるしく変化しており、特に災害発生直後において救出活動と連携して行われる医療活動（DMAT）との協同について、日本赤十字社においてもDMAT隊員を養成し取り組んでいるところである。

当支部管内、八戸赤十字病院がDMAT指定医療機関としての指定を受け、現在3チームのDMATを派遣できるようになっている。

救護班員養成については、八戸赤十字病院主導のDMAT隊員養成への派遣はもとより、引き続き、本社・ブロック主催の全国救護班研修、支部・病院主催の救護班要員基礎・中級研修により、救護員・指導者の養成を継続実施している。

(4) 災害救護装備について

県内市町村における救護装備

- ・天幕、担架、寝台、移動炊飯器の配置

当支部では、災害に備え、県内各地区・分区に天幕等を配置し、災害時には赤十字地域奉仕団が迅速に炊き出し等を実施できるようにしている。

令和7年度の日幕、担架、寝台、移動炊飯器の使用状況は次のとおりである。

装備品名	使用回数	主たる使用状況
天 幕	16	防災訓練、避難訓練 ほか
担 架	2	避難訓練
移動炊飯器	28	奉仕団研修会、防災訓練 ほか

(天幕等の使用状況は、8、9 ページ参照)

・赤十字救援車「博愛号」の配置

当支部では、赤十字の理念とする「人道・博愛」の心について、赤十字活動を通じて広く県民に浸透を図り、市町村において地域住民の安全と健康の保持増進、福祉の向上を目的として赤十字救援車両「博愛号」を県内市町村に配置している。

令和7年度の配置概要は以下のとおりである。なお、令和8年度においては「博愛号」に代わる事業として、「災害対応物品配置事業」を実施する。

車両配置先	配置月日	配置車両
つがる市	8月7日	ニッサン セレナ
中泊町	9月8日	
六戸町	8月26日	
東通村	8月22日	

(「博愛号」の使用状況は、10、11ページ参照)



つがる市役所での配置の様子



中泊町役場での配置の様子
レプリカキーを受け取る演館分区分長と職員の皆さん



六戸町役場での配置の様子
レプリカキーを受け取る佐藤分区分長



東通村役場での配置の様子
レプリカキーを受け取る畑中分区分長

(5) 赤十字防災ボランティアについて

当支部では、赤十字防災ボランティアの組織化を図るため、現在赤十字防災ボランティア及び赤十字地域防災ボランティアの2つのボランティアに対して研修及び訓練を実施している。

① 赤十字防災ボランティア

災害が発生した際に、支部災害対応要員だけでは補いきれないことが想定されるため有事の際に協働できることを目的に、研修及び訓練を実施している。令和7年度には、災害発生に備

え、必要な装備について習熟を行い、災害時のボランティア活動を円滑に進めるための知見を得ることを目的とし、防災ボランティアリーダー研修を日本赤十字社青森県支部で実施。

また、(6)に記載の積雪期訓練等にも支部職員と一緒に参加し、避難所でのボランティア活動などについても知識と技術を深めてもらうことができた。



災害救護について学ぶ赤十字防災ボランティア

② 赤十字地域防災ボランティア

地域奉仕団の新しい活動として、地域包括ケアと災害時の共助の部分での活動をイメージした地域防災ボランティアの養成を令和6年度から開始した。

赤十字講習の中から、平時有事にかかわらず活動に活用できる内容を厳選し、パッケージ化し1.5日の研修として受講していただき、修了試験を経て、平時にはサロンなどにおいて各種ケアを提供、有事には、被災者及び支援者に対してのケアの提供を目指している。



赤十字地域防災ボランティア養成研修の様子

(6) 支部厳冬期訓練について（令和8年1月17日～18日）

青森県支部は青森市にあり、冬期において最高気温は氷点下、積雪も市内で1メートルを超えること珍しくなく、世界一雪深い都市と言われたこともある地域である。

厳冬期における災害発生に備え、防寒装備（衣類・寝袋等）を取り揃えているが、それ以外の自己完結に必要な装備については、実証検証を含めて確認されていない現状にある。冬期のキャンプなどにおいて様々な対応器具が発売されているが、比較的身近で容易に誰でも使用できるもので検証を行った。

昨年に続き、今年は2回目の訓練として、支部職員3名、支部防災ボランティアリーダー4名とともに厳冬期において使用可能か検証した。



支部厳冬期訓練の様子

(7) 赤十字防災セミナー

地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることで、地域の住民の方々が自ら、災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目指し、赤十字防災セミナーを行っている。

令和7年度の実施状況は、以下のとおり。

- ・実施回数 48回
- ・受講者数 1,688名



赤十字防災セミナー「ひなんじょたいけん」の様子

(8) あおもり酷暑期・積雪期避難所演習

青森県、弘前大学、「SAVE LIFEあおもり」が合同で行う、「あおもり酷暑期・積雪期避難所演習」に参加した。

本演習は酷暑期や厳冬期における避難所生活といった劣悪な環境下での災害関連死を予防するため、演習や研究活動を通じて参加者に学んでもらうことを目的に開催された。

日本赤十字社の持つ災害救護活動における救護資材などを展開し、赤十字事業の紹介もふまえながら、厳しい環境の避難所でどのような救護活動を実践できるか検証した。

- ・ 酷暑期避難所演習 8月18日(月)～19日(火)
- ・ 積雪期避難所演習 2月21日(土)～22日(日)



酷暑期演習で水を用意する参加者



積雪期演習で寝具を用意する参加者

災害救護活動用 救護装備・資機材の現有保管状況

項 目		支 部	八戸赤十字病院	計
車両		4	1	5
医療セット		0	2	2
携帯医療セット		1	0	1
テント	エアテント	2	1	3
	ドラッシュテント	3	1	4
	その他	10	1	11
担架		30	8	38
折畳寝台		30	5	35
担架兼用折畳寝台(ハコベルベッド)		2	0	2
発電機		9	2	11
エネルギー (1500W)		2	0	2
太陽光発電パネル		1	0	1
蓄電池 (小) (500W)		1	0	1
蓄電池 (タメルラボ2000N)		3	0	3
蓄電池 (タメルラボ6000N)		2	0	2
専用ソーラーパネルTLSSL-150		3	0	3
専用ソーラーパネルTLSSL-250		2	0	2
投光器		2	0	2
浄水機		1	0	1
衛星電話		2	4	6
災害時優先電話	固定電話	2	2	4
	携帯電話	3	20	23

令和7年度 災害救援物資の交付状況及び天幕等の使用状況表

区 分 市町村名		災害件数・災害種別					救援物資交付数			天幕等使用状況				備考
		り 災 世帯数	被災 者数	火 災		風水害	毛布	緊 急 セット	香花料 (円)	天幕	担架	寝台	炊飯器	
市	青 森 市													
	青 森 市	17	30	17	0	0	26	15	25,000	—	—	—	0	炊飯器 1 器
	青森市浪岡	2	3	2	0	0	3	2	0	0	0	—	1	炊飯器 1 器
	弘 前 市	8	12	5	0	0	11	8	10,000	0	—	—	1	炊飯器 4 器
	八 戸 市	26	44	13	5	0	16	13	30,000	—	—	—	3	炊飯器 2 器
	黒 石 市	1	2	1	0	0	2	1	0	1	—	—	1	炊飯器 1 器
	五所川原市													
	五所川原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	2	炊飯器 1 器
	五所川原市金木	1	1	1	0	0	1	1	0	1	—	—	1	炊飯器 1 器
	五所川原市市浦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	炊飯器 1 器
	十 和 田 市	2	6	2	0	0	9	2	5,000	0	—	—	—	
	三 沢 市	0	0	0	0	0	0	0	0	1	—	—	0	炊飯器 1 器
	む つ 市													
	む つ 市	4	7	4	0	0	7	4	0	0	—	—	0	炊飯器 2 器
	むつ市川内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	むつ市大畑	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	
	むつ市脇野沢	1	3	1	0	0	3	1	0	0	0	—	0	炊飯器 1 器
	つ が る 市	0	0	0	0	0	0	0	0	2	—	—	2	炊飯器 5 器
	平 川 市	1	1	1	0	0	1	1	0	2	—	—	0	炊飯器 3 器
市 計		63	109	47	5	0	79	48	70,000	7	0	0	12	
東地区	平 内 町	1	2	1	0	0	2	1	0	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	外ヶ浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	
	今 別 町	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	
	蓬 田 村	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	炊飯器 1 器
西地区	鰺ヶ沢町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	炊飯器 1 器
	深 浦 町	1	1	0	1	0	1	1	0	1	—	—	2	炊飯器 2 器
中地区	西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	1	—	—	1	炊飯器 1 器
	板 柳 町	1	2	1	0	0	2	1	0	1	—	—	1	炊飯器 1 器
南地区	藤 崎 町	1	1	1	0	0	1	1	0	—	—	—	1	炊飯器 3 器
	大 鰐 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	田舎館村	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	4	炊飯器 1 器
北地区	中 泊 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	1	炊飯器 1 器
	鶴 田 町	3	10	3	0	0	10	4	0	4	—	—	0	炊飯器 1 器

区 分 市町村名		災害件数・災害種別					救援物資交付数			天幕等使用状況				備考
		り災 世帯数	被災 者数	火災 全焼	火災 半焼	風水害	毛布	緊急 セット	香花料 (円)	天幕	担架	寝台	炊飯器	
上北地区	野辺地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	七戸町	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	
	六戸町	1	3	1	0	0	3	1	5,000	1	—	—	0	炊飯器 2 器
	横浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	炊飯器 1 器
	東北町	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	2	炊飯器 2 器
	六ヶ所村	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	炊飯器 1 器
下北地区	大間町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	炊飯器 1 器
	東通村	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	炊飯器 2 器
	風間浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	2	炊飯器 1 器
	佐井村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	炊飯器 2 器
三戸地区	三戸町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	五戸町	1	5	1	0	0	5	2	0	—	—	—	—	
	田子町	1	3	1	0	0	2	1	5,000	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	南部町	1	3	0	1	0	3	1	0	0	—	—	0	炊飯器 3 器
	階上町	1	1	0	1	0	1	1	0	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	新郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	—	2	0	0	炊飯器 1 器
	おいらせ町	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	
そ の 他		0	0	0	0	0	30	60	0	0	0	0	0	
町 村 計		12	31	9	3	0	60	74	10,000	9	2	0	16	
合 計		75	140	56	8	0	139	122	80,000	16	2	0	28	

※天幕等使用状況については、数字は使用回数、— は保有無しを示します。

令和7年度 災害救援物資の在庫状況

	毛布(枚)	緊急セット	安眠セット	タオルケット(枚)
支 部 在 庫	1,921	381	477	1,154
市町村分置	265	190	6	60
合 計	2,186	571	483	1,214

※令和8年3月31日現在

令和7年度 赤十字救援車「博愛号」使用状況調

地区区分名		更新年度	当該年度 走行キロ数	延走行キロ数	備 考
市	青 森 市				
	青 森 市	H29	4,204	40,967	
	青森市浪岡	—	—	—	H29 廃止
	弘 前 市	R 5	3,080	4,971	
	八 戸 市	R 3	2,492	11,667	
	黒 石 市	R 5	5,352	11,168	
	五 所 川 原 市				
	五所川原市	H30	5,648	35,960	
	五所川原市金木	H14	1,850	156,644	
	五所川原市市浦	H15	1,568	137,758	
	十 和 田 市	R 4	4,807	22,168	
	三 沢 市	R元	1,502	24,561	
	む つ 市				
	む つ 市	R 4	2,719	13,875	
	むつ市川内	—	—	—	R 3 廃止
	むつ市大畑	—	—	—	むつ市地区から移管 R 4 廃止
	むつ市脇野沢	H17	4,511	129,965	
	つ が る 市	H11	1,733	108,913	
		R 7	2,679	2,679	
	平 川 市	R 2	4,104	22,266	
市 計			46,249	723,562	
東地区	平 内 町	H29	5,446	58,525	
	外 ケ 浜 町	—	—	—	R 7. 6 廃止
		R 5	5,593	10,240	
	今 別 町	H28	2,393	47,574	
西地区	蓬 田 村	R元	32,088	65,422	
	鰺 ケ 沢 町	R 3	5,527	16,630	
中地区	深 浦 町	H29	15,614	121,816	
	西 目 屋 村	—	—	—	H25 廃止
南地区	板 柳 町	R 4	5,120	12,383	
	藤 崎 町	R元	4,863	31,670	
	大 鰐 町	R 3	3,790	16,683	
北地区	田 舎 館 村	H30	3,701	20,721	
	中 泊 町	—	—	—	R 7. 7 廃止
		H28	4,755	48,458	
		R 7	3,711	3,711	
	鶴 田 町	H30	8,465	51,015	

地区分区名		更新年度	当該年度 走行キ口数	延走行キ口数	備 考
上 北 地 区	野 辺 地 町	R 6	5,348	7,088	
	七 戸 町	R 2	5,636	30,741	
	六 戸 町	—	—	—	R 7. 8 廃止
		R 7	4,436	4,436	
	横 浜 町	H30	9,399	69,396	
	東 北 町	R 3	7,827	32,820	
	六 ヶ 所 村	H29	9,136	94,393	
下 北 地 区	大 間 町	R 5	2,636	6,488	
	東 通 村	R 7	1,927	1,927	
	風 間 浦 村	R 2	7,536	29,474	
	佐 井 村	R元	15,964	80,969	
三 戸 地 区	三 戸 町	R 4	9,485	28,992	
	五 戸 町	R 6	4,839	6,939	
	田 子 町	H28	3,603	44,906	
	南 部 町	H28	3,901	61,973	
	階 上 町	R 6	9,280	15,932	
	新 郷 村	R 2	9,388	48,415	
	お い ら せ 町	H18	6,130	153,238	
R 6		7,654	13,460		
町 村 計			225,191	1,236,435	
合 計			271,440	1,959,997	



2. 看護師養成事業

日本赤十字社では赤十字の理念に基づいた看護が実践できるよう、看護教育を行っている。また、このような理念に基づき、地域医療はもとより、国内外の災害救援の現場で即戦力として活躍できるような質の高い看護師を養成するべく、各都道府県支部では看護師養成事業を実施しており、当支部では、日本赤十字秋田看護大学において看護師の養成を行っている。

養成された学生は、卒業後に八戸赤十字病院へ勤務しつつ訓練を重ね、災害時に災害救護要員として医療救護班に編入される。

令和7年度の学年別養成者は次のとおりである。

赤十字看護教育施設	学 年	人 数
日本赤十字秋田看護大学	1 年	2 名
	2 年	2 名
	3 年	2 名
	4 年	2 名
計	8 名	



3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業

健康で安全な生活を送るために、日本赤十字社では広く一般の人々に「命と健康を守る講習会」を行っている。高齢社会を迎え、救命率向上のためには、市民による事故現場における一次救命処置の実施がより重要となってきたことなどから、指導員養成講習を実施し、体制拡充を行った。令和7年度の普及状況は、以下のとおりである。

(1) 講習会実施状況

① 赤十字救急法

日常生活における事故の防止、手当の基本、心肺蘇生法等の講習を実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
基礎講習	21	404	404	404
救急員養成講習	7	167	167	167
短期講習	132	5,008	—	—
指導員養成講習	1	5	5	5
計	161	5,585	577	577

② 赤十字水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るために、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学ぶ講習を実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
救助員Ⅰ養成講習	4	11	11	11
救助員Ⅱ養成講習	0	0	0	0
短期講習	25	1,634	—	—
(内)着衣泳講習会	(24)	(1,529)	—	—
計	29	1,645	11	11

③ 赤十字幼児安全法

子どもを社会全体で育むうえで、大切な自助・互助・共助・公助を踏まえて、子どもの命を守るために必要な接し方や、事故の予防・手当・看病の方法を学ぶ講習を実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
支援員養成講習	2	14	14	14
短期講習	21	525	—	—
指導員養成講習	0	0	0	0
計	23	539	14	14

④ 赤十字健康生活支援講習

健康寿命を延ばし、自身が健やかな高齢期を迎えるための介護や認知症の予防のほか、地域で高齢者を支援するときに役立つ知識や技術等について学ぶ講習を実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
支援員養成講習	1	4	4	4
短期講習	12	386	—	—
計	13	390	4	4

(2) 救急法等指導員在籍状況

各講習会の指導にあたる指導員の在籍状況は次のとおりである。(令和8年3月31日現在)

区 分	赤十字職員		ボランティア (人)	合 計 (人)
	支部 (人)	施設 (人)		
救 急 法	12	17	77	106
水 上 安 全 法 I	1	0	6	7
水 上 安 全 法 II	0	1	20	21
幼 児 安 全 法	3	4	13	20
健康生活支援講習	6	0	4	10
雪 上 安 全 法	0	0	0	0

※令和7年度に養成した救急法指導員5名は、令和8年に実施の新任指導員養成研修会終了後、登録となるため、この表には含まれていない。

(3) 講習普及事業における特色ある事業

青森県高等学校総合文化祭の赤十字部門で実施されている「救急法コンクール」では、県内青少年赤十字メンバーによる救急法を用いた実技競技会が開催されている。当支部では、このコンクールに向けた講習の実施、出場チームへの指導、コンクール当日の審査などの支援協力を行っている。

令和7年度は、9校から各1チームが出場し、日頃の練習の成果を発揮し、競い合った。

第46回青森県高等学校総合文化祭 赤十字部門「救急法コンクール」

1. 月 日 令和7年10月18日(土)
2. 会 場 青森県立木造高等学校
3. 出場チーム 青森山田高等学校、青森明の星高等学校、木造高等学校、弘前高等学校、弘前中央高等学校、弘前南高等学校、八戸西高等学校、千葉学園高等学校、東奥学園高等学校



救急法コンクールの様子

(4) 子育て支援等に関する連携協定(十和田市と令和4年8月23日締結)による講習の実施

令和7年度は、十和田市のファミリーサポートセンターの会員や放課後児童クラブ、保育士を対象に子どもの救命処置等の講習を実施した。(5回、61名)



4. 赤十字奉仕団

県内の赤十字奉仕団は、各市町村に組織されている地域赤十字奉仕団と、支部直轄の青年・特殊赤十字奉仕団で組織され、5,916名の団員で構成されている。

令和7年度は各地で研修活動が積極的に実施された。実施された研修会は、従来型の奉仕団単独で実施されたもののほか、地域の小中学校や町内会、社会福祉協議会等の他団体、地域のボランティアと連携した研修会を実施した奉仕団もあり、地域とのつながりをより意識した活動への取り組みが多く見られた。令和4年度から行っている災害への備えと活動の強化を目的とした支部主催「合同防災研修会」には、7の地域奉仕団が参加。研修会の目標である近隣奉仕団による連携強化と一体感の醸成を図ることができた。また、広く支部事業や災害ボランティアとして活動する個人ボランティアの募集にも力を入れており、新たなボランティア層の掘り起こし、ボランティア活動への参加を希望する人たちの受け皿になることが期待される。

なお、令和7年度の活動状況は以下のとおり。

(1) 令和7年度赤十字奉仕団活動テーマ

共に生きる喜びを分かちあう赤十字奉仕団活動 ～地域と連携し防災・減災を普及しよう～

(2) 令和7年度赤十字奉仕団重点施策

- 1 災害への備えと活動の強化
- 2 地域との連携と他団体や奉仕団相互との協働の推進
- 3 地域のニーズに即した主体的で積極的な赤十字奉仕団活動の促進
- 4 赤十字奉仕団員の意識向上やスキルアップのための研修の充実・強化
- 5 広報活動の充実・強化
- 6 赤十字会員増強・活動資金増収運動への協力

(3) 令和7年度個人ボランティアの登録状況

登録者数 9名（令和8年3月31日現在）

日赤青森県支部
個人ボランティア
「ちょこボラ」
募集中!

あなたの時間、ちょっとだけシェアしませんか?
～あなたの参加が誰かの笑顔に～

日赤青森県支部事業のサポート
災害時のボランティア活動
地域の困り事への対応や暮らしのサポート

ホームページ インスタグラム

ボランティア登録等について詳しくはHPからご覧ください。

日赤赤十字社 青森県支部
JRC Aomori Prefecture Branch

日赤青森県支部個人ボランティア
主な内容

☆日赤青森県支部事業のサポート

- 職員や指導員、防災セミナー指導者と共に地域での講習・防災セミナーの補助
- 講習・防災セミナーの一部（救急法、ひなんじょ体験、ダンボールベッド組立て、ハンドマッサージ、防災食作り等）を地域の人と一緒に実施
- イベントやブース出展のサポート（貴機材の準備、搬入、ブースの担当など）
- 支部SNS運用協力（SNSの記事作成や編集・投稿、行事へカメラマンとして同行等）

☆災害ボランティア活動

- 職員と共に救援物資の積み込みや被災地への救援物資の搬送補助
- 避難所等の情報収集（近隣に避難所が開設された場合の現地調査等）
- 災害ボランティアセンターでのボランティア活動

※片付け作業等は被災地の災害ボランティアセンターの指示に従い活動します。

☆地域の困り事への対応や暮らしのサポートなどの活動

- 一人暮らし高齢者の生活支援・生きがいづくり（高齢者サロン、趣味教室の開催）
- 地域での清掃活動、防災教室の開催、協力
- 地域イベントでの運営ボランティア
- ボランティアの特技・資格を活かした活動
- JRC加盟校・加盟団の行事等の補助

日赤赤十字社 青森県支部
JRC Aomori Prefecture Branch

(4) 赤十字奉仕団組織の状況について（令和8年3月31日現在）

① 令和7年度末時点の組織の状況

	団 数	分団数	団 員 数		合 計
			男 性	女 性	
地域奉仕団	46	166	959	4,274	5,233
青年奉仕団	4	0	34	73	107
特殊奉仕団	8	27	330	246	576
合 計	58	193	1,323	4,593	5,916

② 組織の状況の推移

	団 数	分団数	団 員 数		合 計	備 考
			男 性	女 性		
令和7年度	58	193	1,323	4,593	5,916	
令和6年度	59	199	1,380	4,780	6,160	
令和5年度	59	224	1,533	5,927	7,460	
令和4年度	60	229	1,526	6,065	7,591	



花巻市赤十字奉仕団と交流会を行い普段の活動等の情報交換など図った十和田市赤十字奉仕団



研修会で簡易トイレの使い方を学ぶ中泊赤十字奉仕団



合同研修会でハイゼックスを使用した炊き出し訓練を実施する蓬田村赤十字奉仕団と蓬田小学校の生徒



合同防災研修で救急法を実践するむつ市赤十字奉仕団、大畑赤十字奉仕団、脇野沢赤十字奉仕団

(5) 赤十字奉仕団組織現況（令和8年3月31日現在）

① 地域奉仕団

令和8年3月31日 現在

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班 数	男	女	計	組織母体
市	青 森 市	S 33. 9. 9	船 木 京 子	2	0	0	26	26	町会有志 市内有志
	青森市浪岡分区	S 34. 9. 30	小 倉 保 英	0	0	19	111	130	民生委員 保健協力員
	弘 前 市	H 20. 4. 1	小 柳 紀八郎	11	47	97	467	564	婦人有志 町会有志
	黒 石 市	S 33. 5. 20	北 山 リ ッ	2	6	0	39	39	連合婦人会
	五所川原市	S 33. 9. 15	小 野 慶 子	4	0	0	241	241	連合婦人会 市民有志
	金 木 町	S 50. 3. 27	外 崎 れい子	5	0	0	137	137	連合婦人会
	市 浦	S 51. 4. 30	三 浦 つや子	5	33	0	58	58	行政連絡員 婦人会
	十和田市	H 17. 1. 1	畑 中 チ ヨ	9	22	149	175	324	婦人・町内有志
	三 沢 市	S 50. 7. 12	沼 田 弘 子	3	13	4	67	71	婦人有志・市民有志
	む つ 市	S 49. 3. 30	森 小 静 子	4	0	16	43	59	町会有志 婦人会
	むつ市川内	S 50. 2. 1	石 倉 司	0	6	3	184	187	連合婦人会 町内有志
	むつ市脇野沢	S 50. 6. 28	濱 田 順 子	2	0	0	40	40	連合婦人会
	むつ市大畑分区	S 50. 3. 24	伝 法 百合子	4	0	0	60	60	連合婦人会他
	つ が る市	H 18. 4. 1	吉 田 博 身	5	3	36	169	205	民生委員 婦人会 行政連絡員
	平川市平賀	S 52. 1. 27	小笠原 勝 則	4	0	25	96	121	ボランティアグループ
	平川市尾上	S 33. 9. 19	西 谷 桂 子	2	0	0	13	13	連合婦人会
	計 16団			62	130	349	1,926	2,275	
東地区	平 内 町	S 48. 10. 9	三津谷 志津子	2	9	0	76	76	婦人会
	外ヶ浜町	H 17. 4. 1	高 森 キクエ	3	16	30	246	276	婦人会 町内有志
	今 別 町	S 33. 9. 5	阿 部 和 江	7	0	0	51	51	連合婦人会 婦人会OB 町内有志
	蓬 田 村	S 38. 9. 23	小 野 富美子	3	0	0	38	38	連合婦人会 婦人有志
	計 4団			15	25	30	411	441	
西地区	鯨ヶ沢町	S 53. 8. 11	水 口 優 子	6	31	24	166	190	民生委員 町内有志 婦人会
	深 浦 町	H 18. 4. 1	堀 内 カ ッ	9	0	11	143	154	民生委員 連合婦人会
	計 2団			15	31	35	309	344	
中南地区	西目屋村	S 53. 6. 28	三 上 文 子	3	0	1	36	37	民生委員 連合婦人会 食生活改善委員 老人C連合会
	板 柳 町	S 51. 11. 30	米 澤 ノブ子	0	0	0	20	20	婦人・町内有志
	藤 崎 町	H 18. 4. 1	神 ノブ子	2	13	0	108	108	婦人会
	大 鰐 町	S 36. 10. 13	田 中 あ ゑ	0	0	0	39	39	婦人有志
	田舎館村	S 51. 8. 9	工 藤 泰 子	0	0	12	74	86	民生委員 保健協力員
	計 5団			5	13	13	277	290	
北地区	鶴 田 町	S 49. 4. 1	宮 本 はる枝	0	0	0	8	8	婦人会
	中泊町分区中里	S 53. 9. 1	鳴 海 君 子	3	0	6	78	84	民生委員 婦人会
	中泊町分区小泊	S 36. 10. 13	秋 元 英 子	3	0	7	109	116	婦人会 村内有志
	計 3団			6	0	13	195	208	

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班 数	男	女	計	組織母体
上北地区	野 辺 地 町	S33. 9. 1	太 田 富 江	4	0	0	51	51	連合婦人会
	七 戸 町	H21. 4. 1	五十嵐 み よ	2	13	1	53	54	民生委員 更生保護女性会 手話サークル 婦人有志
	横 浜 町	S50. 2. 14	竹 田 礼 子	2	0	4	31	35	民生委員 ボランティアグループ
	東 北 町	H17. 12. 15	原 子 スワ子	0	0	0	34	34	婦人会 町内有志
	六ヶ所村	S51. 12. 24	葛 西 奈栄子	0	0	4	79	83	子供会世話人 青年・婦人会有志
	計 5団			8	13	9	248	257	
下北地区	大 間 町	S52. 2. 10	泉 晃	2	0	0	83	83	婦人会
	東 通 村	S51. 7. 5	坂 本 とめ子	4	0	0	45	45	連合婦人会
	風間浦村	S53. 1. 28	原 子 恒 子	4	0	1	50	51	連合婦人会
	佐 井 村	S36. 10. 13	内 藤 要	7	0	125	90	215	婦人会有志 他
	計 4団			17	0	126	268	394	
三戸地区	三 戸 町	S49. 9. 7	田 中 愛一郎	2	0	23	28	51	民生委員 婦人会
	五 戸 町	H16. 7. 1	川 崎 由希子	9	0	1	78	79	連合婦人会
	田 子 町	S50. 7. 21	川 村 武 司	4	54	311	191	502	老人クラブ 自治会 婦人会 民生委員
	南 部 町	H18. 4. 1	掛 端 麻美子	7	0	28	107	135	民生委員 老人クラブ 婦人会 母の会 有志
	階 上 町	S36. 10. 13	山 内 良 子	3	12	0	43	43	有志
	新 郷 村	S50. 2. 27	長 野 良 子	4	0	0	36	36	自治会代表 婦人会
	おいらせ町	H18. 4. 1	大 村 ミ ツ	8	0	21	157	178	民生委員 老人クラブ 有志
	計 7団			37	66	384	640	1,024	
合計 46団				165	278	959	4,274	5,233	

※地域奉仕団の地区区分は、青森県行政機関設置条例に定める地域県民局（地域健康福祉部）の所管に基づいている板柳町が中南地区、おいらせ町が三戸地区となっている。



青森春まつりに出展し赤十字活動のPRを行った
青森市赤十字奉仕団



ハイゼックス袋を使用した炊出しを実施する
木浪学園赤十字ボランティア

② 特別奉仕団

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班数	男	女	計
青年奉仕団	平賀（休団）	S41. 2. 14	長 浜 貴 弘	0	0	0	0	0
	佐井村	S56. 4. 1	田 中 伸 弥	0	0	23	7	30
	木浪学園赤十字ボランティア	H25. 6. 25	小田桐 優 稀	0	0	10	44	54
	青森県立保健大学めいと	R 4. 10. 2	上 原 咲 和	0	0	1	22	23
	計 4団			0	0	34	73	107
特殊奉仕団	点訳・音訳・デイジー編集	S44. 1. 19	中 井 睦	7	5	12	138	150
	水上安全法	S37. 7. 25	江 良 直 志	0	0	14	16	30
	救急法	S44. 11. 12	西 村 芳 樹	6	0	51	33	84
	アマチュア無線	S47. 5. 21	佐 藤 眸	8	0	98	1	99
	碇ヶ関家庭看護法	S52. 3. 8	大 川 富 子	0	0	1	17	18
	岩木山パトロール隊	S59. 4. 29	一 戸 繁 輝	0	0	48	2	50
	支部家庭看護法	S61. 11. 18	山 本 初 枝	0	0	0	8	8
	青森県青少年赤十字賛助	H14. 7. 25	佐 藤 光 則	6	0	106	31	137
	計 8団			27	5	330	246	576

総計	団数	分団数	班数	男	女	合計
	58	193	283	1,323	4,593	5,916

（6）令和7年度赤十字奉仕団支部委員会名簿

役 職	氏 名	所属奉仕団
委 員 長	沼 田 弘 子	三沢市赤十字奉仕団委員長
副委員長	小 柳 紀八郎	弘前市赤十字奉仕団委員長
副委員長	小 野 慶 子	五所川原市赤十字奉仕団委員長

（7）令和7年度赤十字奉仕団指導講師名簿

担当地区	氏 名	
東 青 地 区	工 藤 耕 弘	湯 沢 富 雄
西 北 五 地 区	野 呂 良 悦	三 橋 一 晃
中弘南黒地区	山 本 仁 志	—
上 十 三 地 区	天 内 不 二 子	塚 本 知 玄
むつ下北地区	二本柳 卓	—
三 八 地 区	中 村 正	坂 本 晴 美

令和7年度 赤十字奉仕団関係実施状況（日赤本社・支部ほか）

実施日		行 事 名	開催場所	対 象
4	11日(金)	赤十字奉仕団指導講師会議	支部	指導講師
5	9日(金)	赤十字奉仕団支部委員会 (県下委員長会議)	青森市 リンクステーションホール青森	奉仕団委員長
	13日(火)	全国赤十字大会	東京都 明治神宮会館	赤十字関係者
	17日(土)	青年赤十字奉仕団全国協議会	Web会議方式	青奉全国協議会委員
6	7日(土)～ 8日(日)	青年赤十字奉仕団第1ブロック協議会	岩手県支部	青年奉仕団委員長
7	2日(水)	赤十字奉仕団基礎研修会	青森市 リンクステーションホール青森	赤十字奉仕団員
	3日(木)～ 4日(金)	赤十字奉仕団中央委員会	本社	支部委員会代表者
	17日(木)	東津軽地区赤十字奉仕団 委員長・事務担当者会議	青森県支部	各委員長、地区・分区担当者、 指導講師
	28日(月)	西北地区赤十字奉仕団 委員長・事務担当者会議	ホテルサンルート五所川原	各委員長、地区・分区担当者、 指導講師
8	8日(金)	三戸地区赤十字奉仕団 委員長・事務担当者会議	ユートリー八戸	各委員長、地区・分区担当者、 指導講師
	23日(土)～ 25日(月)	赤十字ボランティアリーダー研修会	本社	参加要件を満たしている奉 仕団員
9	2日(火)	中南地区赤十字奉仕団 委員長・事務担当者会議	弘前パークホテル	各委員長、地区・分区担当者、 指導講師
	12日(金)	赤十字奉仕団リーダーシップ研修会	青森市 リンクステーションホール青森	赤十字奉仕団員
	17日(水)	むつ下北地区赤十字奉仕団 委員長・事務担当者会議	むつ合同庁舎	各委員長、地区・分区担当者、 指導講師
	18日(木)～ 19日(金)	第1ブロック赤十字奉仕団委員長会議 及び奉仕団担当者会議	岩手県支部	支部委員会委員長
10	3日(金)	赤十字奉仕団合同防災研修会 (むつ市・大畑・脇野沢)	下北文化会館	赤十字奉仕団員
	21日(火)～ 22日(水)	日赤秋田県支部主催赤十字奉仕団 リーダーシップ研修会	秋田県 さとみ温泉	赤十字奉仕団員
	29日(水)	上十三地区赤十字奉仕団 委員長・事務担当者会議	七戸町総合アリーナ	各委員長、地区・分区担当者、 指導講師
11	25日(火)	赤十字奉仕団合同防災研修会 (三沢市・東北町)	三沢市 総合社会福祉センター	赤十字奉仕団員
	26日(水)	赤十字奉仕団合同防災研修会 (五所川原市・鶴田町)	五所川原市 市民学習センター	赤十字奉仕団員
12	1日(月)～ 25日(木)	NHK海外たすけあいキャンペーン	全国一斉	関係者
2	13日(金)～ 15日(日)	赤十字奉仕団支部指導講師研修会	本社	指導講師
3	4日(水)	赤十字奉仕団強化推進会議	支部	支部委員会役員、指導講師



5. 青少年赤十字

青少年赤十字は、将来を担う青少年が赤十字の理念を正しく理解し、自発的に赤十字運動に参画することを目指す事業であり、世界の平和と人類の福祉に寄与するとともに、日常生活の中において望ましい人格と精神をつくりあげることが目的としている。

本事業は、幼稚園、保育所、小・中・高等学校、特別支援学校等において、教師等の指導のもと、「気づき、考え、実行する」という態度目標に基づき展開されている。

令和7年度においては320の施設・学校から総数25,985名のメンバーが登録した。県内各地区の多くが作品展、集い交流会、リーダーシップ・トレーニング・センターなどの活動を再開した。

青森県支部主催行事においても、夏期開催の高校リーダーシップ・トレーニング・センターと冬期開催の高校リーダー研修会を2泊3日の宿泊形式で開催することができた。



西北五地区子ども赤十字交流会



中弘南黒地区青少年赤十字の集い



青森県青少年赤十字メンバーと
福島県青少年赤十字メンバーの交流会



青森県青少年赤十字高校リーダー研修会

(1) 令和7年度青少年赤十字加盟登録状況(令和8年3月31日現在)

① 加盟施設・学校数

区 分	加盟校数	加盟校数内訳		学級 グループ数	登録人員数		
		継続加盟	新規加盟		男	女	計
幼稚園	26	26	0	98	689	716	1,405
保育所(園)	139	139	0	580	2,988	2,885	5,873
小学校	75	73	2	590	5,733	5,376	11,109
中学校	42	40	2	302	3,377	3,301	6,678
高等学校	35	33	2	38	175	437	612
特別支援学校	3	2	1	64	203	105	308
計	320	313	7	1,672	13,165	12,820	25,985

※ 指導者数 3,755人

② 加盟状況

幼稚園			
継 続 加 盟	26	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	0		
統 廃 合	3	山彦幼稚園（平内町）／中里こども園（つがる市）／大間幼稚園（むつ市）	
脱退・休止	0		
保育所（園）			
継 続 加 盟	139	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	0		
統 廃 合	2	みはる保育園（つがる市）／きく保育園（十和田市）	
脱退・休止	2	もりた保育園（つがる市）／ふたば保育園（弘前市）	
小学校			
継 続 加 盟	73	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	2	田面木小学校（八戸市）／三戸小学校（三戸町）	
統 廃 合	4	三好小学校（五所川原市）／高清水小学校（十和田市）／三川目小学校（三沢市）／開知小学校（六戸町）	
脱退・休止	3	北小学校（弘前市）／小沢小学校（弘前市）／岩木小学校（弘前市）	
中学校			
継 続 加 盟	40	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	2	新城中学校（青森市）／三戸中学校（三戸町）	
統 廃 合	1	七百中学校（六戸町）	
脱退・休止	0		
高等学校			
継 続 加 盟	33	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	2	田名部高等学校定時制（むつ市）／大間高等学校（大間町）	
統 廃 合	0		
脱退・休止	8	八戸工業高等学校（八戸市）／向陵高等学校（八戸市）／八戸学院光星高等学校（八戸市）／五所川原商業高等学校（五所川原市）／五所川原高等学校（五所川原市）／三本木農業恵拓高等学校（十和田市）／野辺地高等学校（野辺地町）／六ヶ所高等学校（六ヶ所村）	
特別支援学校			
継 続 加 盟	2	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	1	青森第二高等養護学校（青森市）	
統 廃 合	0		
脱退・休止	0		

③ 令和7年度 青少年赤十字地区別加盟登録一覧

令和8年3月31日現在

東青地区							西北五地区						
市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援
青森市	1 青中短1	1 和幸	1 高田	1 北	1 青森西	1 青森第一養護	五所川原市	1 金木	1 七和	1 五所川原	1 金木		
	2 青中短2	2 幸畑	2 荒川	2 佃	2 東奥学園	2 第二高等養護				2 三輪	2 市浦		
	3 青中短3	3 千富	3 浪岡北	3 荒川	3 青森中央					3 東峰			
	4 油川	4 佃	4 浪岡南	4 東	4 青森北					4 栄			
	5 東奥	5 泉川	5 本郷	5 西	5 明の星					5 金木			
	6 あすなろ	6 あおもりみなみこども園		6 筒井	6 青森東					6 松島			
		7 若芽		7 新城	7 青森					7 いずみ			
		8 戸山			8 青森南					8 南			
		9 青森東こども園			9 青森工業								
		10 あかしや			10 青森山田								
		11 しらゆり			11 浪岡		つがる市		1 いなほ	1 柏	1 森田	1 木造	
		12 こども園 瑞穂			12 北斗				2 菰植	2 穂波	2 車力		
		13 合浦保			13 青森商業				3 しげた				
		14 ゆうゆうきっず青森							4 かしわこども園				
		15 青森甲田こども園							5 かしわあつふるこども園				
		16 青森山田こども園					鯹ヶ沢町			1 西海			
		17 青森認定こども園											
		18 戸山分園クレヨン館											
		19 おおぼし保育園					深浦町						
									1 みよし	1 いわさき	1 大戸瀬		
									2 えの木	2 修道			
平内町		1 東和	1 山口				板柳町			1 板柳北			
		2 小湊	2 小湊										
		3 口広	3 東										
		4 山彦											
		5 青空					中泊町			1 小泊			
外ヶ浜町	1 風のまちこども園			1 三厩									
				2 蟹田									
							鶴田町						
今別町		1 今別こども園							1 水元				
蓬田村		1 蓬田	1 蓬田										
校種別計	7	26	9	9	13	2	校種別計	1	9	15	5	1	0
地区合計	66						地区合計	31					

中弘南黒地区							上十三地区						
市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援
弘前市		1 高杉	1 石川	1 石川	1 弘前中央	1 弘前第一養護	十和田市	1 さつき	1 十和田めぐみ	1 藤坂			
		2 やまぶき	2 東目屋	2 津軽	2 東奥義塾				2 緑と太陽				
		3 青女子	3 第三大成	3 新和	3 弘前実業				3 みきの				
		4 大開	4 三省	4 第一	4 弘前工業								
		5 ふじこども園	5 東	5 第二	5 柴田学園								
		6 弘前すみれ	6 文京	6 第三	6 弘前南								
		7 こどもの城	7 城東	7 第四	7 弘前		三沢市	1 いちい	1 チャリティー第1				
		8 城東	8 致遠	8 第五	8 弘前東				2 チャリティー第2				
		9 サンこども園	9 新和	9 裾野			野辺地町						
			10 大和沢	10 相馬									
			11 豊田	11 北辰			七戸町		1 榎林こども園			1 七戸	
			12 大成	12 南					2 道ノ上こども園				
			13 朝陽										
			14 福村				おいらせ町		1 錦ヶ丘				
			15 こどもの館						2 あゆみ				
			16 子供の城						3 川口				
			17 桔梗野						4 下田こども園				
			18 西						5 本村こども園				
			19 青柳						6 深沢				
			20 自得				六戸町		1 ひのでこども				
			21 和徳						2 こども園おひさま				
							横浜町						
							東北町		1 中央ポブラ				
									2 水喰				
									3 ポブラ				
									4 乙供文化				
西目屋村			1 西目屋				六ヶ所村		1 千歳平こども園	1 千歳平			
黒石市		1 中郷こども園			1 黒石				2 泊こども園				
		2 美郷こども園											
平川市		1 大坊こども園		1 平賀西									
		2 平賀あすなろ											
藤崎町			1 常盤	1 藤崎									
			2 藤崎	2 明德									
			3 藤崎中央										
大鰐町	1 おおわに文化												
田舎館村			1 田舎館										
校種別計	1	13	26	15	9	1	校種別計	2	21	2	0	1	0
地区合計			65				地区合計			26			

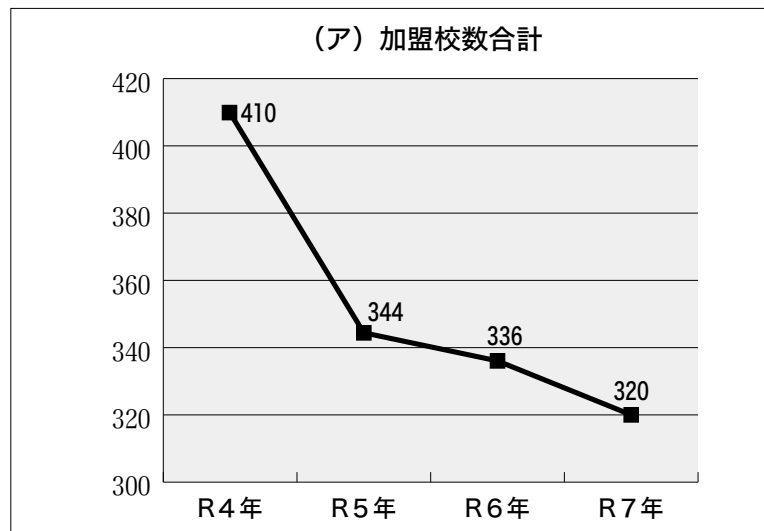
むつ下北地区							三八地区						
市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援
むつ市	1 あたご	1 エビナ	1 脇野沢	1 脇野沢	1 むつ工業		八戸市	1 旭ヶ丘	1 城下	26 南売市	1 多賀	1 北稜	1 千葉学園
	2 むつひまわり	2 大畑中央	2 関根		2 田名部			2 かもめ	2 こざくら	27 おおくきこども園	2 吹上		2 八戸東
	3 星美	3 柳町ひまわり	3 奥内		3 大湊			3 こもれびの森	3 浜市川	28 ひまわり	3 新井田		3 八戸西
		4 小川第二百合	4 大畑		4 田名部定時制			4 高館	4 轟木	29 こどもの城	4 島守		4 八戸商業
		5 よしの						5 長者	5 さめ	30 白山台	5 桔梗野		5 八戸
		6 大平						6 マリアンハウス	6 桔梗野	31 うぐいす	6 白銀		6 八工大一高
		7 近川						7 八戸学院	7 すみれ	32 太陽と海の子	7 田面木		
		8 並木						8 第二しのめ	8 テレジア	33 下長こども園			
		9 白百合						9 聖アンナ	9 いちのさわ	34 しみず			
		10 ゆきのこ							10 岬台	35 白鷗			
		11 海の子							11 多賀台	36 類家			
		12 あすなろ							12 大杉平	37 桐の葉			
		13 苦生ひまわり							13 中居林こども園	38 明星こども園			
									14 虹の丘	39 サンフラワー			
大間町		1 うみの子	1 奥戸	1 大間	1 大間				15 三条	40 むつみ			
東通村		2 大間	2 大間						16 みどりのかげエドナレ	41 ほうりん			
風間浦村		1 風間浦							17 エンゼル子どもの家	42 貴福			
佐井村		1 佐井村	1 佐井	1 佐井					18 尻内	43 是川			
			2 牛滝						19 根城こども園	44 こぼと			
									20 木の実園	45 旭ヶ丘			
									21 三島	46 小久保			
									22 すぎのこ	47 第二さえずりの森			
									23 みどりのかげ北ウイング				
									24 湊				
									25 藤覚				
							三戸町		1 ミューズ		1 三戸	1 三戸	
							五戸町	1 江渡	1 めぐみ		1 五戸	1 五戸	
											2 上市川	2 倉石	
											3 倉石		
							田子町	1 田子			1 田子	1 田子	
							南部町	1 あかね	1 福地			1 南部	
												2 福地	
												3 名川	
							階上町		1 石鉢		1 階上	1 階上	
									2 階上		2 赤保内		
									3 道仏				
校種別計	3	17	9	4	5	0	校種別計	12	53	14	9	6	0
地区合計	38						地区合計	94					

県 計	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援
令和7年度末計	26	139	75	42	35	3
総 計	320	※令和6年度末加盟校数 336 校 △ 16 校				

④ 青少年赤十字加盟登録状況の推移

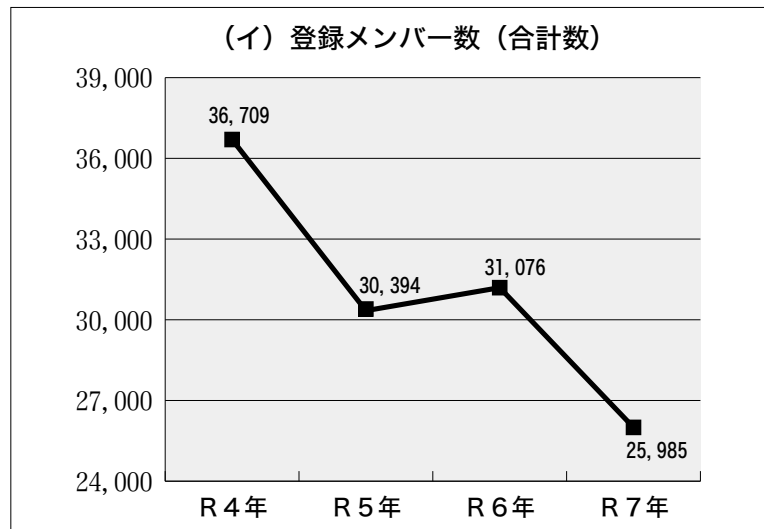
(ア) 加盟校数合計

年度	学校数
R 7 年	320
R 6 年	336
R 5 年	344
R 4 年	410



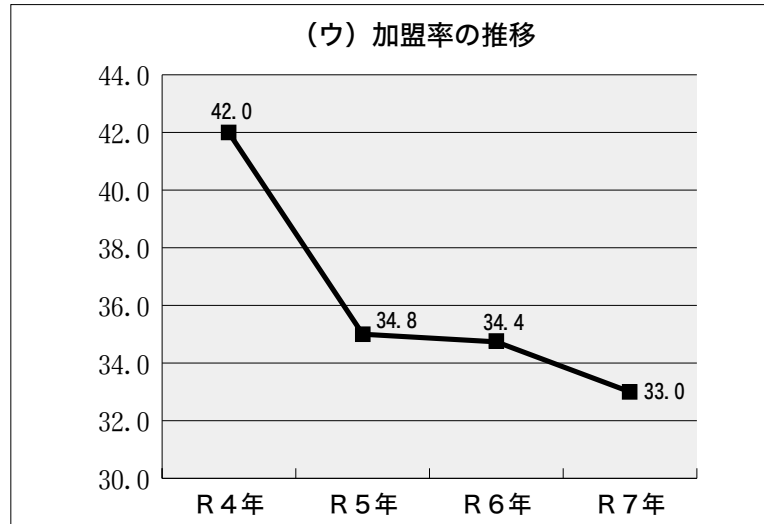
(イ) 登録メンバー数合計

年度	登録メンバー数
R 7 年	25,985
R 6 年	31,076
R 5 年	30,394
R 4 年	36,709



(ウ) 加盟率の推移 ※幼保を除く

年度	加盟率
R 7 年	33.0
R 6 年	34.4
R 5 年	34.8
R 4 年	42.0



(2) 青少年赤十字関連研修会・会議開催状況

① 本社主催研修会・会議

名 称	開催月日	開催場所	参 加 者
リーダーシップ・ トレーニングセンター 指導者養成講習会	5月30日(金) ～ 6月1日(日)	国立オリンピック記念 青少年総合センター	指導者1名
全国指導者協議会 総会・研修会	7月4日(金)	日本赤十字社本社	出席者無し
全国賛助奉仕団協議会総会	7月8日(火) ～ 7月9日(水)	日本赤十字社本社	賛助奉仕団委員長1名
青少年赤十字研究会	8月6日(水)	日本赤十字社本社	指導主事1名
国際交流事業	10月30日(木) ～ 10月31日(金)	国立オリンピック記念 青少年総合センター (東京都)	指導者1名
スタディー・センター	3月22日(日) ～ 3月26日(木)	東照館	高校生メンバー2名

② ブロック（担当支部）主催研修会・会議

名 称	開催月日	担当支部	参 加 者
青森県 青少年赤十字メンバーと 福島県青少年赤十字 メンバーの交流会	10月17日(金)	青森県支部	中弘南黒地区高校生メンバー13名 中弘南黒地区指導者5名 支部職員1名 福島県高校生メンバー5名 福島県引率2名
第1ブロック指導者研究会	10月23日(木) ～ 10月24日(金)	山形県支部	指導者1名

③ 支部主催研修会・会議

名 称	開催月日	開催場所 (開催形式等)	参 加 者
指導講師会議	4月23日(水)	日本赤十字社 青森県支部	青少年赤十字指導講師10名
県指導者協議会理事会・ 指導主事等対象研修会	7月7日(月)	青森県総合社会 教育センター	県青少年赤十字指導者協議会役員 指導主事
青少年赤十字高校 リーダーシップ・ トレーニング・センター	7月30日(水) ～ 8月1日(金)	県立梵珠 少年自然の家	高校生メンバー35名参加 アシスタントメンバー8名参加 指導者養成講習会3名参加 指導スタッフ6名参加 サブスタッフ1名参加
青少年赤十字高校 リーダー研修会	1月7日(水) ～ 1月9日(金)	公立小川原湖 青年の家	高校生メンバー20名参加 アシスタントメンバー6名参加 指導スタッフ7名参加

④ 関係機関・団体の行事

名 称	開催月日	開催場所	参 加 者
県賛助奉仕団総会	5月27日(火)	日本赤十字社青森県支部	県賛助奉仕団員
高総文青少年赤十字 部門大会（西北・中南大会）	10月18日(土)	青森県立木造高等学校	支部職員5名 赤十字救急法指導員

（３）令和７年度青森県青少年赤十字指導者協議会役員

役 職 名	氏 名	所 属 校（施 設）
会 長	小 島 史 靖	深浦町立修道小学校長
副会長（幼・保）	笹 原 芳 彦	並木保育園長
副 会 長（小）	山 本 敦	佐井村立佐井小学校長
副 会 長（中）	横 山 晴 彦	弘前市立第一中学校長
副 会 長（高）	濱 端 美奈子	県立八戸中央高等学校長

（４）令和７年度青少年赤十字指導講師

担当地区	氏 名	
東 青 地 区	石 村 光 也	工 藤 耕 弘
西 北 五 地 区	近 藤 徹	鶴 賀 一 昭
中弘南黒地区	多 田 健 司	
上 十 三 地 区	丸 井 英 子	
むつ下北地区	中 村 聡	
三 八 地 区	中 村 正	
高等学校担当	瀧 本 ひろみ	

令和7年度 青森県青少年赤十字指導者協議会役員一覧

県役員	事 項／地 区		東 青		西 北 五		中 弘 南 黒		上 十 三		む っ 下 北		三 八		
	所 属／氏 名		氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	
会長・小島 史靖 副会長・笹原 芳彦 山本 敦 横山 晴彦 濱端美奈子	理 事	会 長	熊澤 健一	北中	小島 史靖	修道小	横山 晴彦	弘前第一中	坂本久美子	藤坂小	山本 敦	佐井小	工藤 健夫	島守小	
		副 会 長	蛭名 将之 富士 竜也 工藤 将大 三浦 真	あおりみなみこども園 浪岡南小 東中 青森北高	工藤 慶人 三浦 博明 (なし) 三上 保	水元保育園 五所川原南小 木造高	古川 香 山口安祈子 対馬 俊一 中川 伸吾	大坊こども園 和徳小 明徳中 弘前実業高	羽立 俊士 (なし) (なし) 高橋美和子	チャリティー第二 高杉 洋子 齊藤 保 山田 昭	笹原 芳彦 並木保 奥内小 佐井中 田名部高	並木保 奥内小 佐井中 田名部高	小澤 一雅 沼館 寿朗 中村 雅人 本宮 共子 出貝 幸浩 矢部 広明	すみれ保 吹上小 多賀小 白銀小 新井田小 八戸東高	
	専 門 委 員	幼 児 部 会	小泉 隆人 蝦名 崇子	幸畑保 山彦幼	工藤 慶人	水元保	下山 京子 工藤ゆり子 山口 優美	高杉保 青女子保 中郷こども園	蛭沢 正雄 長嶺 寿子	中央ボブラ保 ひのでこども園	笹原 芳彦 中野 正子 吉田沙恵子 齊藤 典子	並木保 並木保 ゆきのこ保 エビナ保	田頭 正嗣 須川真也子 工藤裕美子	高館幼 テレジア保 エンゼル子どもの家保	
		小 学 校 部 会	副田 俊司 赤田 李哉 奥崎 健二	小湊小 山口小 本郷小	松山 伸 小山内祥子 外崎 淳郎	板柳南小 鶴田小 小阿弥小	宮本 隆嘉 中村 康 越谷かおり	青柳小 田舎館小 和徳小	(なし)		高杉 洋子 奥本香奈子 畑中 千光 飛内 貴大	奥内小 佐井小 関根小 奥戸小	須藤有祐美	島守小	
		中 学 校 部 会	山田 大介 松尾 健治 熊澤 健一	筒井中 三厩中 北中	(なし)		松山 裕 神 浩彦 角田奈央子 石岡 卓彦	弘前第二中 弘前第一中 津軽中 弘前第四中	(なし)		齊藤 保 西村 一牧 葛西 真紀 關 貴之	佐井中 佐井中 東通中 脇野沢中	(なし)		
		高 校 部 会	平山しのぶ 川崎 陽子 石塚 智美 安江 道子	青森中央高 青森南高 東奥学園高 青森東高	外崎 恵子 鈴木 則子	木造高 木造高	三戸 美英 野呂 千春 水木 禎人	弘前工業高 弘前実業高 弘前中央高	藤田 共章 玉館香奈子	七戸高 七戸高	山田 昭 皆川 裕美 傳法 宏美 小原 舞子	田名部高 田名部高 むつ工業高 大湊高	秋山 統子	八工大第一	
	協地区 議会指 導事務 局局長者	事 務 局 長	土岐 礼一	北中	小島 史靖	修道小	神 浩彦	弘前第一中	三沢 正幸	藤坂小	奥本香奈子	佐井小	田名部純一	島守小	
		局 員	小西 静子 山脇 啓太	北中 北中			田澤 伸明	弘前第一中	野坂 洋一 野崎宇多子 東 たい子	藤坂小 藤坂小 藤坂小	皆川 裕美 中野 正子	田名部高 並木保			
	部地区 会事務 局幼児	部 会 長	蛭名 将之	あおりみなみこども園	工藤 慶人	水元保	古川 香	大坊こども園	羽立 俊士	チャリティー第二	笹原 芳彦	並木保	原田 輝子	みどりのかぜ北ウイング	
		事 務 局 長	鎌田 昭子	青森甲田こども園	長内恵理花	水元保	成田 宣子	大開保	加藤 桂	チャリティー第二	中野 正子	並木保	前田 陽子	すみれ保	
		事 務 局 員	我妻真智子	青森甲田こども園			三浦 テツ	城東保							
	部地区 会事務 局高校	部 会 長	三浦 真	青森北高	三上 保	木造高	中川 伸吾	弘前実業高	高橋美和子	七戸高	山田 昭	田名部高	鳴海美香子	八戸東高	
		事 務 局 長	山口 誓子	青森北高	外崎 恵子	木造高	野呂 千春	弘前実業高	藤田 共章	七戸高	皆川 裕美	田名部高	中川 徹	八戸商業高	
		局 員	千葉多恵子	青森北高	鈴木 則子	木造高	中村 友是	柴田学園高	玉館香奈子	七戸高					
	指 導 講 師			石村 光也		近藤 徹		多田 健司	瀧本 ひろみ	丸井 英子		中村 聡		中村 正	
				工藤 耕弘		鶴賀 一昭			(高校)						



6. 国 際 活 動

日本赤十字社は、スイスのジュネーブにある赤十字国際委員会・赤新月社連盟を中心に世界191の国と地域の赤十字・赤新月社と連携しながら、開発途上国の援助や飢餓・紛争や自然災害等で苦しんでいる人々に援助の手を差し伸べるとともに、国際親善の強化に努めている。

国際赤十字・赤新月社連盟は、大規模災害発生に備え、E R U（緊急対応ユニット）を配備しており、日本赤十字社では基礎保健型E R Uを保有し、国際的な救援要請に応える準備を整えている。当支部管内ではE R U要員1名を有している。

（1）国際援助活動

① NHK海外たすけあい（第43回）

窓 口 区 分		取扱件数（件）	取扱金額（円）
支 部 扱 い	支部管内取扱	90	214,583
	NHK各放送局	1	2,057
	地方銀行	24	147,640
合 計		115	364,280

② 海外救援金受付状況

救 援 金 名	取扱件数（件）	取扱金額（円）
無指定海外救援金	1	250,000
中東人道危機救援金	2	470
バングラデシュ南部避難民救援金	3	10,110
ウクライナ人道危機救援金	77	320,012
2025年ミャンマー地震救援金	32	520,151
2025年アフガニスタン地震救援金	21	80,618
2025年パキスタン洪水救援金	20	81,726
イラン及び周辺国人道危機救援金	2	10,010
合 計	158	1,273,097

（2）国際協力事業

○救急法普及支援事業

ラオス赤十字社が行う救急法普及事業に対して、財政支援や資機材整備支援等をはじめ、指導者のスキルアップのための技術指導の支援等を実施している。

令和6年度は、ラオス赤十字社への救急法に関する技術支援を行うことを目的として、当支部職員を1名派遣した。

○青少年赤十字海外支援事業

バヌアツ赤十字社支援事業として、災害に対し脆弱な同国支援のため、子どもたちの防災意識の向上、学校における災害リスクの軽減を目的に防災教育事業及びボランティアのネットワーク強化などへの支援を実施している。

○気候変動等レジリエンス強化事業

ルワンダ赤十字社と連携し、気候変動の影響と考えられる災害、感染症や貧困などの社会課題に対し、住民が課題に取り組む「モデルビレッジアプローチ」を普及させ、レジリエンスを強化させるため、財政支援を実施している。

○気候変動対策事業

アフガニスタン赤新月社が主体となつて行う、気候変動による自然災害へ対応するための「村落や学校での防災・減災活動」、「生活支援活動」に対し、財政支援を実施している。

○ジブチ気候変動対応事業

ジブチ赤新月社と連携し、令和7年度より新たに始められた事業。

ジブチは世界で最も暑い国と呼ばれ、気候変動の影響で深刻な水・食糧不足等の脅威にさらされていることから、荒地に木を植え、農地を増やすなどの活動をとおり、ジブチの人々が干ばつや食糧危機に立ち向かうための支援を行う。

事業の開始に伴う現地視察を目的として、当支部職員を1名派遣した。



防災教育を体験するジブチの子どもたち



聞き取りを行う日赤職員

◎国際協力事業に対する令和7年度の拠出額は次のとおりである。

第1ブロック各支部拠出金総額	6,000,000円
内、当支部負担額	678,000円

(3) 三沢米軍基地内アメリカ赤十字社との連携

三沢米軍基地内にあるアメリカ赤十字社三沢基地支部と連携し、相互事業への協力を行っている。



7. 社会福祉事業

○青森県支部受託青森県立はまなす医療療育センター

① 概 要

児童福祉法第42条第2号及び第43条第2号に規定されている医療型障害児入所施設及び医療型児童発達支援センター並びに障害者総合支援法第5条第6項、第5条第7項及び第5条第8項に規定されている療養介護、生活介護及び短期入所の運営業務を青森県より委託を受け、また、医療法に規定する病院としての機能による小児リハビリテーションを中心に、小児整形外科疾患や障がい児の小児科治療を主として行っている。

(ア)医療型障害児入所施設 肢体不自由42床 重症心身障害40床

肢体不自由児及び重症心身障がい児を入所させて、保護、日常生活の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び治療を行っている。

(イ)医療型児童発達支援センター 40名

肢体不自由児及び重症心身障がい児を通わせて、日常生活における基本的動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び集団生活への適応のための訓練並びに治療を行っている。地域支援として、保育所等訪問支援、障害児相談支援及び計画相談支援の事業を行っている。

(ウ)療養介護 肢体不自由42床 重症心身障害40床

障がい者を入所させて、機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び日常生活上の世話並びに供与を行っている。

(エ)生活介護 20名

障がい者を通わせて、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動及び生産活動の機会の提供等の便宜を供与している。

(オ)短期入所（空床型）

障がい者等を短期間入所させて、入浴、排せつ及び食事の介護等の便宜を供与している。

(カ)外来診療

乳幼児の運動発達診察や小児整形外科疾患の診察と治療、そして、障がい児の小児診療を行っている。

(キ)療育相談

各市町村及び県南・むつ市の3保健所とともに障がい児の早期発見のために、赤ちゃんの運動発達相談を行い、また、必要により在宅の障がい児（者）の家庭訪問を行っている。

② 年間利用児（者）延数及び外来患者数

(ア)医療型障害児入所施設・療養介護（肢体）	延	8, 8 6 1人（1日平均 24.3人）
(イ)医療型障害児入所施設・療養介護（重心）	延	8, 6 2 7人（1日平均 23.6人）
(ウ)医療型児童発達支援センター	延	1, 4 8 3人（1日平均 6.2人）
(エ)短期入所	延	2 5 4人（1日平均 0.7人）
(オ)生活介護	延	8 5 9人（1日平均 3.6人）
(カ)外来患者数	延	1 1, 1 5 1人（1日平均 46.3人）

③ 医療社会活動

活 動 内 容	派 遣 先	日数又は件数	派遣人員 (のべ人数)
療 育 相 談	上北保健所	12日	12
	下北保健所	3日	3
在宅重度身体障害者 訪問診療者査	三 沢 市	3件	9
	八 戸 市	2件	6
	おいらせ町	1件	3
小・中学校脊椎側彎症等 運動器学校検診	八 戸 市	18日	18



夏祭り 令和7年9月30日



サツマイモ収穫 令和7年10月16日



クリスマス会 令和7年12月17日





8. 医 療 事 業

○八戸赤十字病院

八戸赤十字病院は、赤十字の理念や赤十字思想の実践を通じ、八戸市救急医療施設病院群輪番制病院（救急告示病院）、地域医療支援病院、地域災害拠点病院として地域の救急医療、質の高い医療、災害救護に取り組んでいる。

令和7年度は、地域災害拠点病院として施設の強靱化を図るため、止水・防水・内水氾濫対策を完成させ、備蓄に関して適量を適所に常備するように講じた。

経営状況は、前年度に指定を受けた「グループ支援病院」から脱却し、経営の安定化を図ることに邁進した。精神科病棟の休止やエネルギー関連費用の高騰や物価上昇による費用の増加もあり、当初は収支改善を計画的に進めることは難しい状況であったが、紹介患者や救急患者を断らない、病床稼働率90%超を目標に掲げるとともに、新たな加算取得や上位基準の取得・維持に鋭意取り組んだことで、総収支が黒字となった。

良質な急性期医療の提供と地域医療の確保と災害に強い医療機関を目指し、健全な経営を維持し、地域の皆様の生命と健康を守るため、赤十字の理念に基づいた信頼される医療を実践し、「あなたの病院、わたしの病院、そして、私たちの病院」として、誇れる病院づくりに最善を尽くしていかなければならないと考えている。

① 許可病床数及び入院基本料

一般病床 374床 急性期一般入院料1（7対1）

精神病床 33床 休床

② 診療科目（標榜診療科）

消化器内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、膠原病内科、血液内科、精神科、脳神経内科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科

③ 年間取扱患者数

ア. 入院患者 110,957人（一日平均 304.0人 前年度比 △7.7人）

イ. 外来患者 144,848人（一日平均 601.0人 前年度比 +1.7人）

④ 病院における医療社会活動

一般診療の他に、年間に院内外において行った医療社会活動の状況は、次表のとおりであった。

令和7年度活動	開催日数	開催箇所数	対象者数	従事者数		
				職 員	その他	計
母 親 学 級	12	1	65	36		36
栄 養 相 談	319(回)	1	6,430	1,432		1,432
各 種 検 診	24	2	1,303	24		24
患 者 慰 安	0	0	0	0		0
健 康 生 活 支 援 講 習 会	0	0	0	0		0
心 肺 蘇 生 ・ A E D 講 習 会	0	0	0	0		0
訪 問 看 護	0	0	0	0		0
育 児 相 談	49	1	442	294		294
保 健 指 導	0	0	0	0		0



八戸市総合防災訓練 令和7年9月27日



青森県東方沖地震 令和7年12月8日



9. 血 液 事 業

○青森県赤十字血液センター

青森県赤十字血液センターでは本社事業運営の基本方針に則り「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」及び関係法令を遵守し、採血事業者及び医薬品販売業者としての責務である血液製剤の安全性の確保・向上及び安定供給の確保並びに献血者の保護に努め、確実な事業を遂行している。

令和7年度においても年間を通じ、医療機関の需要に見合った血液を安定的に確保するとともに、少子高齢化に伴い献血可能人口が減少する中、将来にわたり血液製剤を安定供給する体制に向けた対策を継続して実施してきた。10代から30代の若年層に対しては、国が策定する中期目標「献血推進2025」を踏まえ、全国で効果のあった具体的な増加策を取り入れる等、大学生・高校生に対して献血者の増加につながる積極的な取り組みを展開した。

令和7年度の献血受け入れ計画は、県内医療機関で使用する輸血用血液の需要予測に基づき、必要とする血液製剤を過不足なく安定的に供給するため、献血者数45,254人、目標量19,883.5Lと目標設定した。

これらの目標量を確保するため、青森県赤十字血液センターでは成分献血及び400mL献血の推進に主眼をおき、地方公共団体等の協力のもと、献血者の年齢層に応じた献血推進はもとより、幼少期を含めた若年層、企業や団体等を普及啓発の対象として効果的な活動や重点的な献血者募集を実施するとともに、複数回献血者の一層の増加を図り、更には健康的な高年齢層献血者の受け入れを積極的に実施した。

具体的には各種キャンペーンの展開、献血セミナーの実施、広報媒体及び学生献血ボランティア等の活用、新規事業所の開拓等を行い、献血者の確保に努めた。

青森県赤十字血液センターは、血液法の理念である、より安全な血液製剤をより安定的に医療機関へ供給する体制を目指して、より一層の努力を続けていかなければならないと考えている。

令和7年度事業概要

(1) 献血状況

献血者数は43,116人で、前年度に比較すると1,957人の減となり、対前年比では95.7%となった。(令和6年度の献血者は45,073人)

献血量は18,886.2Lで、前年度に比較すると862.7Lの減となり、対前年比では95.6%となった。(令和6年度の献血量は19,748.9L)

(2) 供給状況

県内医療機関（病院等）への血液製剤供給本数は、200mL換算で189,908単位となり、前年度に比較すると1,254単位の減、対前年比では99.3%となった。(令和6年度の供給本数は191,162単位)

(3) 令和7年度 月別施設別献血状況

① 令和7年度月別施設別献血状況（4月～3月）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
青森バス	2 0 0 mL	13	16	11	31	14	40	93	43	10	84	8	10	373
	4 0 0 mL	1,411	1,305	1,288	1,386	1,450	1,319	1,401	1,227	1,471	1,308	1,345	1,341	16,252
	計	1,424	1,321	1,299	1,417	1,464	1,359	1,494	1,270	1,481	1,392	1,353	1,351	16,625
	確保量 (L)	567.0	525.2	517.4	560.6	582.8	535.6	579.0	499.4	590.4	540.0	539.6	538.4	6,575.4
	稼働日数	41	39	35	38	37	40	42	39	40	41	37	41	470
一台平均		34.7	33.9	37.1	37.3	39.6	34.0	35.6	32.6	37.0	34.0	36.6	33.0	35.4
八戸バス	2 0 0 mL	8	3	18	47	6	48	22	38	31	5	4	5	235
	4 0 0 mL	584	556	615	700	624	592	624	557	641	605	560	585	7,243
	計	592	559	633	747	630	640	646	595	672	610	564	590	7,478
	確保量 (L)	235.2	223.0	249.6	289.4	250.8	246.4	254.0	230.4	262.6	243.0	224.8	235.0	2,944.2
	稼働日数	16	16	16	16	15	16	16	15	15	16	14	16	187
一台平均		37.0	34.9	39.6	46.7	42.0	40.0	40.4	39.7	44.8	38.1	40.3	36.9	40.0
全血バス合計	2 0 0 mL	21	19	29	78	20	88	115	81	41	89	12	15	608
	4 0 0 mL	1,995	1,861	1,903	2,086	2,074	1,911	2,025	1,784	2,112	1,913	1,905	1,926	23,495
	計	2,016	1,880	1,932	2,164	2,094	1,999	2,140	1,865	2,153	2,002	1,917	1,941	24,103
	確保量 (L)	802.2	748.2	767.0	850.0	833.6	782.0	833.0	729.8	853.0	783.0	764.4	773.4	9,519.6
	稼働日数	57	55	51	54	52	56	58	54	55	57	51	57	657
一台平均		35.4	34.2	37.9	40.1	40.3	35.7	36.9	34.5	39.1	35.1	37.6	34.1	36.7
青森県	2 0 0 mL	4	11	7	6	11	1	5	4	3	3	1	3	59
	4 0 0 mL	252	307	277	287	323	237	258	278	310	185	209	300	3,223
	血 漿	211	277	270	261	333	263	308	310	273	246	210	268	3,230
	血小板(分割)	122	112	104	115	92	119	109	116	117	105	102	112	1,325
	血小板(分割以外)	69	75	91	89	103	88	100	93	81	75	64	93	1,021
	計	658	782	749	758	862	708	780	801	784	614	586	776	8,858
	確保量 (L)	329.0	386.8	373.6	373.8	423.6	355.7	390.6	400.0	386.3	311.2	292.9	382.6	4,406.1
	稼働日数	25	27	26	26	27	25	27	26	26	27	24	26	312
一日平均		26.3	29.0	28.8	29.2	31.9	28.3	28.9	30.8	30.2	22.7	24.4	29.8	28.4
弘前県	2 0 0 mL	25	25	15	13	24	16	20	13	27	22	23	15	238
	4 0 0 mL	295	357	310	295	365	310	272	309	401	272	298	373	3,857
	血 漿	247	310	283	282	320	251	276	283	308	246	278	280	3,364
	血小板(分割)	129	104	137	130	125	115	137	123	123	135	106	143	1,507
	血小板(分割以外)	91	97	83	103	119	118	87	103	95	96	90	107	1,189
	計	787	893	828	823	953	810	792	831	954	771	795	918	10,155
	確保量 (L)	386.2	434.9	411.2	405.8	462.6	393.7	390.7	408.0	457.7	377.5	386.5	445.7	4,960.5
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	31	28	31	364
一日平均		26.2	28.8	27.6	26.5	30.7	27.0	25.5	27.7	31.8	24.9	28.4	29.6	27.9
合計	2 0 0 mL	50	55	51	97	55	105	140	98	71	114	36	33	905
	4 0 0 mL	2,542	2,525	2,490	2,668	2,762	2,458	2,555	2,371	2,823	2,370	2,412	2,599	30,575
	血 漿	458	587	553	543	653	514	584	593	581	492	488	548	6,594
	血小板(分割)	251	216	241	245	217	234	246	239	240	240	208	255	2,832
	血小板(分割以外)	160	172	174	192	222	206	187	196	176	171	154	200	2,210
	合 計	3,461	3,555	3,509	3,745	3,909	3,517	3,712	3,497	3,891	3,387	3,298	3,635	43,116
	確保量 (L)	1,517.4	1,569.9	1,551.8	1,629.6	1,719.8	1,531.4	1,614.3	1,537.8	1,697.1	1,471.7	1,443.8	1,601.7	18,886.2
	稼働日数	112	113	107	111	110	111	116	110	111	115	103	114	1,333
一日平均		30.9	31.5	32.8	33.7	35.5	31.7	32.0	31.8	35.1	29.5	32.0	31.9	32.3
	初回献血者数(人)	235	252	236	293	192	266	304	196	185	185	135	149	2,628
	再来献血者数(人)	3,226	3,303	3,273	3,452	3,717	3,251	3,408	3,301	3,706	3,202	3,163	3,486	40,488
	初回献血率(%)	6.8	7.1	6.7	7.8	4.9	7.6	8.2	5.6	4.8	5.5	4.1	4.1	6.1

② 年齢別献血者数推移調

(人)

区 分	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
16 ～ 19 歳	1,391	1,387	2,778	1,243	1,204	2,447	1,252	1,005	2,257
20 ～ 29 歳	3,753	2,469	6,222	3,443	2,287	5,730	3,217	2,053	5,270
30 ～ 39 歳	4,948	2,291	7,239	4,571	2,070	6,641	4,266	1,961	6,227
40 ～ 49 歳	8,066	3,370	11,436	7,373	3,087	10,460	6,958	2,798	9,756
50 ～ 59 歳	9,439	3,827	13,266	9,549	3,892	13,441	9,509	3,610	13,119
60 ～ 69 歳	4,721	1,431	6,152	4,858	1,496	6,354	4,947	1,540	6,487
計	32,318	14,775	47,093	31,037	14,036	45,073	30,149	12,967	43,116

③ 年齢別献血者構成比率及び前年度比調

区 分	構成比率(%)	前年比(%)	前年増減(人)
16 ～ 19 歳	5.2	92.2	▲ 190
20 ～ 29 歳	12.2	92.0	▲ 460
30 ～ 39 歳	14.4	93.8	▲ 414
40 ～ 49 歳	22.6	93.3	▲ 704
50 ～ 59 歳	30.4	97.6	▲ 322
60 ～ 69 歳	15.0	102.1	133
計	100.0	95.7	▲ 1,957

④ 職業別献血者推移調

(人)

区 分	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
公 務 員	8,906	1,780	10,686	8,736	1,880	10,616	8,330	1,786	10,116
会 社 員	16,754	6,133	22,887	16,019	5,872	21,891	15,871	5,560	21,431
高 校 生	735	841	1,576	701	768	1,469	728	628	1,356
その他学生	1,282	1,355	2,637	1,105	1,195	2,300	1,052	990	2,042
そ の 他	4,641	4,666	9,307	4,476	4,321	8,797	4,168	4,003	8,171
計	32,318	14,775	47,093	31,037	14,036	45,073	30,149	12,967	43,116

(4) 令和4年・5年・6年・7年度月別血液供給数

(200mL換算)

月区分	令和4年度 県内供給数	令和5年度 県内供給数	令和6年度 県内供給数	令和7年度 県内供給数
4 月	15,689	16,200	15,543	14,831
5 月	16,115	16,487	15,835	15,360
6 月	14,581	15,241	14,324	14,154
7 月	16,652	15,742	15,179	16,465
8 月	15,989	17,919	16,850	15,169
9 月	15,386	17,490	14,879	15,784
10 月	14,886	17,757	17,311	16,425
11 月	14,993	15,248	15,715	15,247
12 月	17,348	15,267	16,744	17,774
1 月	16,765	14,992	17,329	16,871
2 月	16,273	14,590	15,049	15,080
3 月	18,238	16,618	16,404	16,748
合 計	192,915	193,551	191,162	189,908

※200mL換算とは、200mL献血から分離された赤血球を1単位、血漿を1単位(120mL)、400mLから分離された赤血球を2単位・血漿を2単位(240mL)、血漿成分献血を4単位(480mL)、血小板成分献血を5～20単位として計算したものである。



献血の呼びかけにご協力いただいた
平賀ライオンズクラブの皆様



献血の呼びかけにご協力いただいた
エフエム青森「ラジモット」出演関係者の皆様

(5) 多回数献血者の表彰

◎献血回数 100回以上
〈金色有功章〉

市 町 村	人 数
青 森 市	17
弘 前 市	18
三 沢 市	5
八 戸 市	5
中 泊 町	1
十 和 田 市	3
板 柳 町	1
平 川 市	1
鱒ヶ沢町	1
東 北 町	2
黒 石 市	2
深 浦 町	1
大 鰐 町	1
野 辺 地 町	1
六 戸 町	1
おいらせ町	2
五 戸 町	1
そ の 他	1
計	64

◎献血回数 70回以上
〈銀色有功章〉

市 町 村	人 数
青 森 市	24
弘 前 市	28
八 戸 市	14
平 川 市	4
五所川原市	6
黒 石 市	1
む つ 市	3
藤 崎 町	4
三 沢 市	7
十 和 田 市	6
おいらせ町	2
田 舎 館 村	1
野 辺 地 町	2
つ がる 市	4
板 柳 町	1
蓬 田 村	1
大 鰐 町	1
五 戸 町	2
南 郷 村	2
平 内 町	1
そ の 他	1
計	115



献血の呼びかけにご協力いただいた
ガールスカウト青森第11団の皆様



献血の呼びかけにご協力いただいた
青森八甲ライオンズクラブの皆様



献血の呼びかけにご協力いただいた
青森中央学院大学学生献血推進サークルDOTSの皆様



10. 活動資金の募集状況及び会員の現況

令和7年度の会員増強・活動資金増収運動は、「赤十字は、動いてる！ あなたと想いを一つにして。」をスローガンに掲げ、令和7年2月1日から通年募集を行った。

なお、赤十字奉仕者による募集活動については、地域の実情を踏まえた最も効果的と思われる時期に実施するなど柔軟に対応し、支部と地区・分区が連携のもと、県民に対する赤十字運動への参画と理解浸透を図った。

令和7年度の活動資金実績は163,331,425円（目標額の88.9%）となり、目標額の達成には至らなかった。

（1）会員増強・活動資金増収運動の主な取り組み

当支部の組織基盤となる会員（協力会員を含む）の継続した会費協力を促すため、広報資材を活用した地域住民に対する会員制度の定着、全国共通活動資金募集リーフレットの配布等による預金口座振替やクレジットカード決済等の利用促進を図ったほか、県内法人へのダイレクトメールによる会員の確保と活動資金の増収に努めた。

また、遺贈執行の円滑化や受遺団体としての知名度向上のため、地元税理士会や司法書士会の外部の専門機関との連携を強化したほか、県内2箇所（弘前市、八戸市）において終活・社会貢献セミナーを開催した。

（2）令和7年度 会員増強・活動資金増収運動の状況

① 会員等状況調

日本赤十字社は、会員等をもって組織されており、当支部では毎年2月から通年による会員増強・活動資金増収運動を展開している。当支部の会員等状況は、下表のとおりである。

（ア）会員の状況（令和8年3月31日現在）

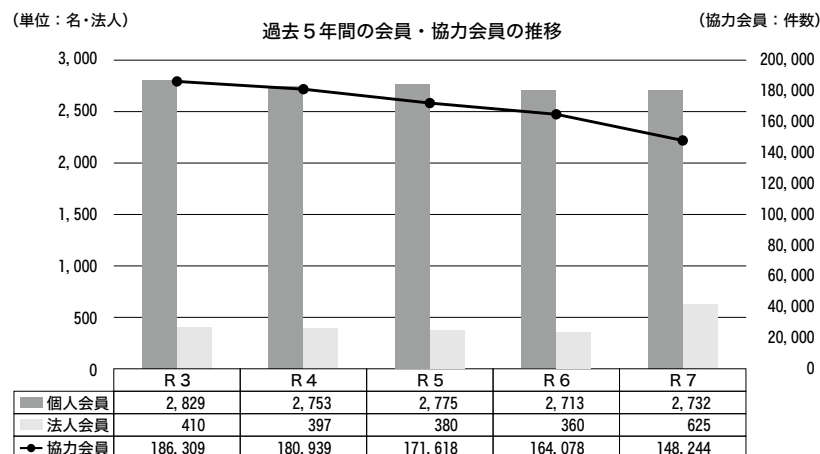
	本年度末の会員数
個 人	2,732人
法 人	625人
合 計	3,357人

※日本赤十字社の目的に賛同し、年額2,000円以上を納め運営に参画する個人又は法人

（イ）協力会員の状況（令和8年3月31日現在）

	本年度の件数
協力会員	148,244 件

※会員以外の者であって、日本赤十字社の目的に賛同し、目安として年額500円以上を提供する個人又は団体



② 募集実績額

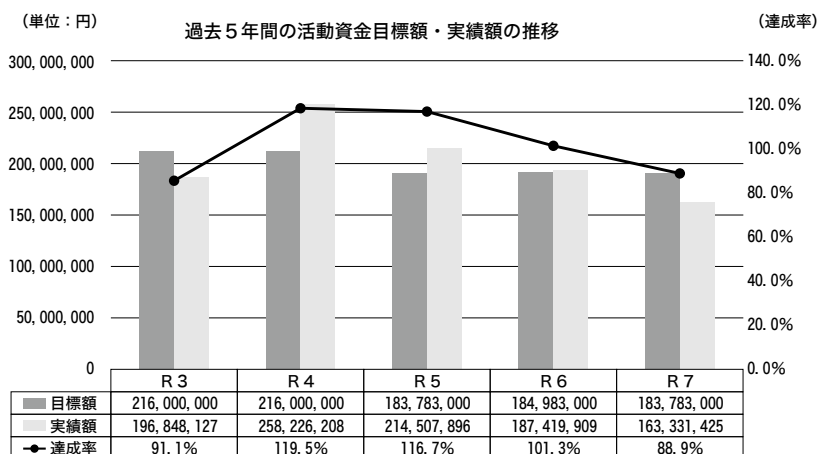
令和7年度の募集実績額は、前年度募集実績額187,419,909円に対し、前年度比で24,088,484円（12.9%）の減となった。主たる要因としては、相続財産による寄付や大口寄付の減が挙げられる。

《地区区分・支部別の募集実績額》

区 分		目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達成率 (%)
総 額		183,783,000	163,331,425	88.9
内 訳	地 区 分 区 扱 い	140,572,000	128,405,237	91.3
	支 部 扱 い	43,211,000	34,926,188	80.8

《会費・寄付金の収入状況》

区 分		会 費 (円)	寄 付 金 (円)	合 計 (円)
総 額		119,458,967	43,872,458	163,331,425
内 訳	一 般	117,256,967	27,142,362	144,399,329
	地 区 分 区 扱 い	115,566,467	11,907,770	127,474,237
	支 部 扱 い	1,690,500	15,234,592	16,925,092
	法 人	2,202,000	16,730,096	18,932,096
	地 区 分 区 扱 い	431,000	500,000	931,000
	支 部 扱 い	1,771,000	16,230,096	18,001,096



③ 令和7年度 会員増強・活動資金増収運動の募集実績表

区分 地区・分區別		A目標額(円)	B実績額(円)	B/A(%)	区分 地区・分區別		A目標額(円)	B実績額(円)	B/A(%)
市 地 区	青 森 市	24,558,000	20,541,269	83.6	南 地 区	藤 崎 町	2,131,000	1,771,400	83.1
	旧青森市	22,114,000	18,431,356	83.3		大 鰐 町	1,366,000	1,101,500	80.6
	旧浪岡町	2,444,000	2,109,913	86.3		田 舎 館 村	1,234,000	1,401,912	113.6
	弘 前 市	11,930,000	10,598,705	88.8		計	4,731,000	4,274,812	90.4
	八 戸 市	20,473,000	17,400,734	85.0	北 地 区	鶴 田 町	1,963,000	1,801,550	91.8
	黒 石 市	3,171,000	2,701,273	85.2		中 泊 町	1,951,000	1,517,300	77.8
	五所川原市	6,058,000	5,485,422	90.5		計	3,914,000	3,318,850	84.8
	旧五所川原市	4,331,000	3,999,972	92.4	上 北 地 区	野 辺 地 町	1,867,000	2,682,000	143.7
	旧金木町	1,253,000	1,070,600	85.4		七 戸 町	2,674,000	2,310,500	86.4
	旧市浦村	474,000	414,850	87.5		六 戸 町	1,401,000	1,719,500	122.7
	十和田市	6,426,000	5,844,514	91.0		横 浜 町	822,000	769,500	93.6
	三 沢 市	3,921,000	3,857,972	98.4		東 北 町	2,547,000	2,274,100	89.3
	む つ 市	5,893,000	5,168,050	87.7		六ヶ所村	1,552,000	1,480,200	95.4
	旧むつ市	3,970,000	3,531,350	89.0		計	10,863,000	11,235,800	103.4
	旧川内町	663,000	536,900	81.0	下 北 地 区	大 間 町	658,000	545,300	82.9
	旧大畑町	980,000	800,800	81.7		東 通 村	1,141,000	989,100	86.7
	旧脇野沢	280,000	299,000	106.8		風間浦村	438,000	787,336	179.8
	つがる市	5,729,000	5,083,416	88.7		佐 井 村	501,000	480,600	95.9
	平 川 市	4,886,000	5,366,140	109.8		計	2,738,000	2,802,336	102.3
					三 戸 地 区	三 戸 町	1,902,000	1,990,550	104.7
	計	93,045,000	82,047,495	88.2		五 戸 町	2,930,000	3,374,650	115.2
東 地 区	平 内 町	2,224,000	2,056,600	92.5		田 子 町	1,032,000	1,007,300	97.6
	今 別 町	731,000	594,700	81.4		南 部 町	3,161,000	3,035,900	96.0
	蓬 田 村	508,000	689,500	135.7		階 上 町	2,062,000	2,448,274	118.7
	外ヶ浜町	1,456,000	1,241,300	85.3		新 郷 村	434,000	646,700	149.0
	計	4,919,000	4,582,100	93.2		おいらせ町	2,912,000	2,643,020	90.8
西 地 区	鰺ヶ沢町	2,050,000	1,788,100	87.2		計	14,433,000	15,146,394	104.9
	深 浦 町	1,550,000	1,065,650	68.8	支 部 直 轄 扱		43,211,000	34,926,188	80.8
	計	3,600,000	2,853,750	79.3	市 計		93,045,000	82,047,495	88.2
中 地 区	西目屋村	315,000	396,000	125.7	町 村 合 計		47,527,000	46,357,742	97.5
	板 柳 町	2,014,000	1,747,700	86.8	市 町 村 合 計		140,572,000	128,405,237	91.3
	計	2,329,000	2,143,700	92.0	合 計		183,783,000	163,331,425	88.9

④ 令和7年度 会員増強・活動資金増収運動の募集実績額対前年度比較表

区分 地区・分區別		令和7年度		B / A 目標額 達成率	C 令和6年度 実績額(円)	B－C 対前年度 比較増減額(円)	対前年度実績率	
		A 目標額(円)	B 実績額(円)				B / C	達成率
市地区	青森市	22,114,000	18,431,356	83.3%	20,766,183	▲2,334,827	88.8%	▲11.2%
	青森市浪岡	2,444,000	2,109,913	86.3%	2,355,768	▲245,855	89.6%	▲10.4%
	弘前市	11,930,000	10,598,705	88.8%	11,177,499	▲578,794	94.8%	▲5.2%
	八戸市	20,473,000	17,400,734	85.0%	19,155,759	▲1,755,025	90.8%	▲9.2%
	黒石市	3,171,000	2,701,273	85.2%	2,804,000	▲102,727	96.3%	▲3.7%
	五所川原市	4,331,000	3,999,972	92.4%	4,147,922	▲147,950	96.4%	▲3.6%
	五所川原市金木	1,253,000	1,070,600	85.4%	1,118,100	▲47,500	95.8%	▲4.2%
	五所川原市市浦	474,000	414,850	87.5%	435,350	▲20,500	95.3%	▲4.7%
	十和田市	6,426,000	5,844,514	91.0%	7,979,850	▲2,135,336	73.2%	▲26.8%
	三沢市	3,921,000	3,857,972	98.4%	4,194,325	▲336,353	92.0%	▲8.0%
	むつ市	3,970,000	3,531,350	89.0%	3,480,080	51,270	101.5%	1.5%
	むつ市川内	663,000	536,900	81.0%	762,200	▲225,300	70.4%	▲29.6%
	むつ市大畑	980,000	800,800	81.7%	847,800	▲47,000	94.5%	▲5.5%
	むつ市脇野沢	280,000	299,000	106.8%	300,100	▲1,100	99.6%	▲0.4%
	つがる市	5,729,000	5,083,416	88.7%	5,120,250	▲36,834	99.3%	▲0.7%
	平川市	4,886,000	5,366,140	109.8%	5,557,528	▲191,388	96.6%	▲3.4%
計	93,045,000	82,047,495	88.2%	90,202,714	▲8,155,219	91.0%	▲9.0%	
東地区	平内町	2,224,000	2,056,600	92.5%	1,929,600	127,000	106.6%	6.6%
	今別町	731,000	594,700	81.4%	688,330	▲93,630	86.4%	▲13.6%
	蓬田村	508,000	689,500	135.7%	733,000	▲43,500	94.1%	▲5.9%
	外ヶ浜町	1,456,000	1,241,300	85.3%	1,312,300	▲71,000	94.6%	▲5.4%
	計	4,919,000	4,582,100	93.2%	4,663,230	▲81,130	98.3%	▲1.7%
西地区	鯨ヶ沢町	2,050,000	1,788,100	87.2%	1,852,600	▲64,500	96.5%	▲3.5%
	深浦町	1,550,000	1,065,650	68.8%	1,137,550	▲71,900	93.7%	▲6.3%
	計	3,600,000	2,853,750	79.3%	2,990,150	▲136,400	95.4%	▲4.6%
中地区	西目屋村	315,000	396,000	125.7%	398,000	▲2,000	99.5%	▲0.5%
	板柳町	2,014,000	1,747,700	86.8%	1,830,550	▲82,850	95.5%	▲4.5%
	計	2,329,000	2,143,700	92.0%	2,228,550	▲84,850	96.2%	▲3.8%
南地区	藤崎町	2,131,000	1,771,400	83.1%	1,863,970	▲92,570	95.0%	▲5.0%
	大鰐町	1,366,000	1,101,500	80.6%	1,150,800	▲49,300	95.7%	▲4.3%
	田舎館村	1,234,000	1,401,912	113.6%	1,430,850	▲28,938	98.0%	▲2.0%
	計	4,731,000	4,274,812	90.4%	4,445,620	▲170,808	96.2%	▲3.8%
北地区	鶴田町	1,963,000	1,801,550	91.8%	1,822,400	▲20,850	98.9%	▲1.1%
	中泊町	1,951,000	1,517,300	77.8%	1,629,850	▲112,550	93.1%	▲6.9%
	計	3,914,000	3,318,850	84.8%	3,452,250	▲133,400	96.1%	▲3.9%
上北地区	野辺地町	1,867,000	2,682,000	143.7%	2,107,700	574,300	127.2%	27.2%
	七戸町	2,674,000	2,310,500	86.4%	2,403,850	▲93,350	96.1%	▲3.9%
	六戸町	1,401,000	1,719,500	122.7%	1,777,100	▲57,600	96.8%	▲3.2%
	横浜町	822,000	769,500	93.6%	807,000	▲37,500	95.4%	▲4.6%
	東北町	2,547,000	2,274,100	89.3%	2,339,150	▲65,050	97.2%	▲2.8%
	六ヶ所村	1,552,000	1,480,200	95.4%	1,484,900	▲4,700	99.7%	▲0.3%
	計	10,863,000	11,235,800	103.4%	10,919,700	316,100	102.9%	2.9%
下北地区	大間町	658,000	545,300	82.9%	573,000	▲27,700	95.2%	▲4.8%
	東通村	1,141,000	989,100	86.7%	1,004,800	▲15,700	98.4%	▲1.6%
	風間浦村	438,000	787,336	179.8%	383,500	403,836	205.3%	105.3%
	佐井村	501,000	480,600	95.9%	493,600	▲13,000	97.4%	▲2.6%
	計	2,738,000	2,802,336	102.3%	2,454,900	347,436	114.2%	14.2%
三戸地区	三戸町	1,902,000	1,990,550	104.7%	2,038,050	▲47,500	97.7%	▲2.3%
	五戸町	2,930,000	3,374,650	115.2%	3,496,500	▲121,850	96.5%	▲3.5%
	田子町	1,032,000	1,007,300	97.6%	969,600	37,700	103.9%	3.9%
	南部町	3,161,000	3,035,900	96.0%	3,206,500	▲170,600	94.7%	▲5.3%
	階上町	2,062,000	2,448,274	118.7%	2,010,800	437,474	121.8%	21.8%
	新郷村	434,000	646,700	149.0%	1,167,200	▲520,500	55.4%	▲44.6%
	おいらせ町	2,912,000	2,643,020	90.8%	2,873,950	▲230,930	92.0%	▲8.0%
	計	14,433,000	15,146,394	104.9%	15,762,600	▲616,206	96.1%	▲3.9%
支 部 直 轄		43,211,000	34,926,188	80.8%	50,300,195	▲15,374,007	69.4%	▲30.6%
市 計		93,045,000	82,047,495	88.2%	90,202,714	▲8,155,219	91.0%	▲9.0%
町 村 合 計		47,527,000	46,357,742	97.5%	46,917,000	▲559,258	98.8%	▲1.2%
市 町 村 合 計		140,572,000	128,405,237	91.3%	137,119,714	▲8,714,477	93.6%	▲6.4%
合 計		183,783,000	163,331,425	88.9%	187,419,909	▲24,088,484	87.1%	▲12.9%



11. 赤十字思想の普及と広報活動

(1) 全国赤十字大会

赤十字運動月間にあたり、会員の増強と赤十字思想の普及を図り、一層の社業進展を期するため、名誉総裁の皇后陛下をはじめ、名誉副総裁の各妃殿下がご臨席された。

式典では、赤十字運動に著しい功績のあった個人や法人が表彰され、本県から有功章受章者代表として参会した福島哲男氏（株式会社福島漁業 代表取締役会長）が名誉総裁の皇后陛下より直接、有功章を授与された。

期 日 令和7年5月13日
場 所 東京都「明治神宮会館」
参 会 者 数 約1,600名
支 部 参 会 者 13名

有功章受章者代表は下表のとおり

表彰種別	氏 名
金色有功章	福 島 哲 男

支部参会者は下表のとおり（順不同）

氏 名	役職名等	氏 名	役職名等
木 明 昭一郎	支部選出理事	多 田 健 司	青少年赤十字指導講師
花 田 初 枝	会員・寄付者	箱 石 陽 子	八戸赤十字病院看護部長
蝦 名 和 人	赤十字有功会員	山 田 利 恵	有功章受章者代表付添人
小 柳 紀八郎	奉仕団支部委員会副委員長	神 登喜彦	支部事務局長
三 橋 一 晃	奉仕団指導講師	田 澤 達 也	支部総務課長
坂 本 晴 美	奉仕団指導講師	大 石 敦 史	支部総務課会員係長



全国赤十字大会に参会された本県の赤十字関係者

(2) 活動資金功労表彰伝達式

令和7年中に、当支部に対して活動資金の支援を行った個人・法人に日本赤十字社及び国の表彰制度に基づく有功章等の伝達を行った。

期 日 令和8年3月26日

場 所 ホテル青森（青森市）

伝 達 者 日本赤十字社青森県支部 支部長 宮下 宗一郎

受章(賞)件数 50名・法人



活動資金功労表彰伝達式に出席された受章者



伝達式で祝辞を述べる宮下支部長



支部長から感謝状が伝達される受章者

受章者名簿（順不同、敬称略）

《金色有功章 受章者》

青 森 市	和 泉 吉 忠	外ヶ浜町	宮 本 幸 祐
	三 浦 一 郎	野辺地町	林 亨
八 戸 市	井 上 比 奈	階 上 町	新井田 富 雄
五所川原市	其 田 寿 一		
青 森 市	株式会社 徳差組	東 京 都	株式会社 ケアネット
弘 前 市	株式会社 金子企画		技術技能講習センター 株式会社

以上 7個人、4法人

《銀色有功章 受章者》

青 森 市	木 村 敦 子	十和田市	中野渡 正 彦
	今 喜代美	三 沢 市	高 橋 弘 子
	高 橋 建 男	風間浦村	富 岡 雅 子
弘 前 市	小田桐 拓 哉	新 郷 村	村 下 政 拓
	中 村 昇 平	東 京 都	北 本 祐 士
八 戸 市	坂 井 恵	沖 縄 県	内 藤 大 貴
	山野内 博 見		
青 森 市	倉橋建設 株式会社	八 戸 市	有限会社 軒商会
	東京海上日動火災保険 株式会社	五所川原市	社会福祉法人 照輝会
	光和電業 株式会社	藤 崎 町	有限会社 野呂産業
	株式会社 細川産業	中 泊 町	株式会社 カネイチ
弘 前 市	株式会社 金子商事	東 京 都	技術技能講習センター 株式会社
八 戸 市	株式会社 眞照堂		

以上 13個人、11法人

《日本赤十字社 社長感謝状 受章者》

青 森 市	神 登喜彦	東 北 町	岡 山 義 忠
	三 上 幸 子		
青 森 市	一般社団法人 慈恵会	八 戸 市	東北グリーンターミナル株式会社
	株式会社 兼建興業		穂積建設工業 株式会社
弘 前 市	社会福祉法人 伸康会	む つ 市	株式会社 トーリン
	有限会社 弘西運輸	む つ 市	株式会社 ニッ森商店
八 戸 市	株式会社 共同物流サービス	東 北 町	株式会社 中村建設工業
	株式会社 デーリー東北新聞社		

以上 3個人、11法人

《厚生労働大臣感謝状 受章者》

八 戸 市	井 上 比 奈
-------	---------

以上 1個人

(3) 広報活動の実施状況について

① 会員、活動資金の募集運動用資材の制作配布

1) 広報ポスター

制 作 数：4,300枚

活用内容：「道の駅」等市町村主要施設に掲出

2) 広報チラシ

制 作 数：430,000枚

仕 様：A 4、両面カラー印刷

活用内容：世帯配布、「道の駅」等市町村主要施設に設置

3) 奉仕者協力依頼状（白封筒付き）

制 作 数：12,800枚

仕 様：A 4、三つ折り、2色刷り

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配布

4) 会員・活動資金募集の手順書

制 作 数：19,400枚

仕 様：A 4、両面カラー印刷

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配布

5) 税制上の優遇措置、赤十字の表彰と表彰種別

制 作 数：26,800枚

仕 様：A 4、両面カラー印刷

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配布

6) 会員加入・寄付申込書兼領収書

制 作 数：87,000枚（348,000人分）

仕 様：B 4、両面2色刷り

活用内容：会員への加入、活動資金の納付

7) 全国共通活動資金募集リーフレット（日赤本社制作）

配 布 数：18,000部

活用内容：町内・自治会による募集が困難な地域などへの試行的な活用、管内施設やイベント等での配布

② 資材による広報活動

1) リーフレット「日本赤十字社のご案内」（日赤本社制作）

活用内容：個人・法人有功章社員等の募集、イベント等での配布

2) キャンペーン用広報ポスター（日赤本社制作）

活用内容：キャンペーン期間中に管内施設、地区分区等で掲出

3) 赤十字新聞「赤十字NEWS」（日赤本社制作）

送付回数：毎月発行

送 付 数：22,000部

活用内容：奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に送付

4) 支部報「日赤あおもり」

発行回数：年2回発行

発行数：1回につき1,000部

活用内容：奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に送付



(左) 日赤あおもり412号 2025冬号

(令和7年12月1日発行)

(右) 日赤あおもり413号 2026春号

(令和8年3月31日発行)

③ メディア等による広報活動

1) ブランディングテレビCM、ラジオCM

赤十字運動月間である5月を中心に県内の民放3局（青森放送、青森朝日放送、青森テレビ）でブランディングテレビCMを放送したほか、赤十字運動月間である5月には、県内のエフエム局（エフエム青森）でラジオCMを放送した。

2) テレビ局におけるパブリシティ

地元テレビ局のパブリシティ枠を確保し、地域における赤十字活動の理解促進を図った。

青森朝日放送（ABA）、青森テレビ（ATV） 9月放送

3) 新聞広告の掲載

新聞各社が企画する防災特別紙面において、日本赤十字社が展開する9月、3月の「ACTION! 防災・減災」の取り組みの一環として広告を出稿し、防災・減災の意識向上と会員増強・活動資金増収運動への理解促進を図った。

(ア) 東奥日報社 連合広告（2段1/2カラー）

(イ) 陸奥新報社 編集記事下広告（2段1/2カラー）

(ウ) デーリー東北新聞社 編集記事下広告（2段1/4モノクロ）

4) マスメディア、市町村広報紙における記事の掲載

テレビ・新聞等マスメディアへの取材依頼と市町村広報紙への記事の寄稿を依頼した。

5) ホームページ、SNSの運用

支部統合ウェブサイト（当支部ホームページ）による赤十字活動の紹介、活動資金の募集、ボランティアの加入方法等の情報を発信したほか、当支部公式SNS（X、Facebook、Instagram、YouTube）による積極的な情報発信に努めた。

④ イベントによる広報活動

1) 赤十字ふれあい推進事業

地区区分が各自治体等で開催するイベント等で、赤十字活動の広報展開を行った。

《実施状況》 1 地区・11 分区（13 事業）

地区分区名	事業名	実施日
五所川原市金木	金木町虫送り	6 月 15 日
外ヶ浜町	龍飛埼海岸清掃奉仕活動	7 月 2 日
十和田市	晴山町内会地域密着防災訓練	8 月 2 日
七戸町	しちのへ夏まつり	8 月 16 日
おいらせ町	生涯学習フェスティバル	10 月 18 日～19 日
田子町	田子町総合防災訓練	10 月 18 日
	田子町文化祭赤十字コーナー	10 月 25 日
横浜町	公民館まつり赤十字コーナー	10 月 25 日～26 日
新郷村	新郷村総合防災訓練	10 月 26 日
東北町	東北町生き活き産業文化まつり	11 月 1 日～2 日
階上町	階上町民文化祭	11 月 1 日～2 日
田舎館村	収穫感謝祭&シクラメン市	11 月 15 日
鶴田町	鶴田町町民文化祭	11 月 15 日



公民館まつりでの赤十字コーナーの様子（横浜町）



地域密着防災訓練での炊き出しの様子（十和田市）

2) 世界赤十字デー レッドライトアッププロジェクト

5月8日の「世界赤十字デー」を中心に、全国各地のランドマークや施設が赤十字のシンボルカラーに染まる「レッドライトアッププロジェクト」を実施し、当支部では5月8日に6ヵ所の施設で実施した。

(ア) 津軽ダム (国土交通省 東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所)

(イ) 八戸市多賀多目的運動場 (八戸スポーツ・地域振興グループ)

(ウ) 八戸市総合保健センター (八戸市)

(エ) むつマエダアリーナ (むつ市)

(オ) 北の防人大湊 海望館 (むつ市)

(カ) 大橋* (むつ市) *むつ市円通寺から田名部神社方面へ向かう橋



レッドライトアップされた施設
(上左から、津軽ダム、八戸市多賀多目的運動場、八戸市総合保健センター、
むつマエダアリーナ、北の防人大湊 海望館、大橋)

3) ACTION! 防災・減災一命のために今うごけー

未来に目を向け、「災害への備え」の大切さについて一緒に考えることで、一人ひとりが自分ごと化し、自身や家族、大切な人の命を救う具体的な行動(ACTION)を起こすきっかけづくりを目指した取り組みとして、社会の防災への意識が高まる9月と3月に「ACTION! 防災・減災」を展開した。

当支部では関係機関の協力を仰ぎ、WEBサイトやSNS上での特設WEBサイトURLの掲載や閲覧、ポスター掲示により備える力を高める活動の普及促進を強化した。



12. 青森県赤十字有功会

青森県赤十字有功会は、昭和55年5月24日、県内在住の有功章社員の参加を求めて結成され、以来、会員相互の「親睦・奉仕」を合い言葉に「人道・博愛」を使命とする赤十字事業を支援し続け、昨年5月、46年目を迎えた。

令和8年3月31日現在、会員数は、287名（社・団体）となっている。

（1）有功会員による仲間づくり運動の推進

会員の募集した実績		会員の寄付協力実績		合 計	
件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)
1	1,000,000	22	7,850,000	23	8,850,000

（2）青森県赤十字有功会会員の状況

（令和8年3月31日 現在）

市郡別	区 分	個 人		法 人		計
		金色有功章	銀色有功章	金色有功章	銀色有功章	
青 森 市		3 2	1 9	3 4	9	9 4
弘 前 市		8	3	1 4	3	2 8
八 戸 市		1 9	3	3 2	3	5 7
黒 石 市		0	1	1	0	2
五 所 川 原 市		3	2	1	2	8
十 和 田 市		5	1	6	1	1 3
三 沢 市		3	0	3	0	6
む つ 市		5	1	5	0	1 1
つ が る 市		2	1	1	1	5
平 川 市		0	0	0	0	0
小 計		7 7	3 1	9 7	1 9	2 2 4
東 津 軽 郡		3	3	4	4	1 4
西 津 軽 郡		0	1	2	1	4
中 津 軽 郡		0	0	0	1	1
南 津 軽 郡		1	1	1	0	3
北 津 軽 郡		1	0	0	0	1
上 北 郡		6	4	6	3	1 9
下 北 郡		1	2	3	0	6
三 戸 郡		1 1	1	1	0	1 3
小 計		2 3	1 2	1 7	9	6 1
県 外		2	0	0	0	2
合 計		1 0 2	4 3	1 1 4	2 8	2 8 7

※会員総数 287 (内訳) 個人 145名 法人 142社



通常総会の様子



大阪・関西万博視察研修旅行（赤十字パビリオン前）

(3) 令和7年度 青森県赤十字有功会主要事業

項 目 / 概 要			
1) 有功会員による仲間づくり運動の推進			
令和7年度協力実績	23件	8,850,000円	令和8年3月31日現在 個人・法人会員数 287人・社 ※前年度 303人・社
(内訳)			
新規有功章等募集	1件	1,000,000円	
会員による寄付金	22件	7,850,000円	
2) 地区赤十字有功会への活動の助成			
地区有功会活動助成金	3地区	67,000円	
(内訳)			
弘前市赤十字有功会		27,000円	
平内町赤十字有功会		20,000円	
蓬田村赤十字有功会		20,000円	
3) 有功会報の発行			
有功会報 第80号発行（発行日：令和8年3月）			全会員ほか関係者等へ送付
4) 各種義援金等寄託			
令和7年青森県東方沖地震義援金		10,000円	
NHK海外たすけあい		5,000円	
5) 青少年・こども赤十字活動支援			
品名：けんけつちゃん×ハートラちゃんハンドタオル（ベージュ）		100枚贈呈	
品名：ハートラちゃん×シナモロールクリアファイル		200枚贈呈	
6) 各種行事等			
①監査会（6月13日）			
・令和6年度事業並びに会計収支監査			
②第62回役員会（6月13日）			
・議案審議			
令和6年度事業報告及び収支決算について			
令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について			
会長選出について			
③通常総会（7月9日：ホテル青森）			
・議案審議			
令和6年度事業報告及び収支決算について			
令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について			
会長選出について			
④地区有功会総会			
・弘前市赤十字有功会総会（7月30日）			
・平内町赤十字有功会総会（6月18日）			
・蓬田村赤十字有功会総会（8月7日）			
⑤青森県赤十字有功会結成45周年事業 大阪・関西万博視察研修旅行（9月17～19日）			
⑥日赤紺綬・有功会会長協議会総会（10月3日：ホテルニューオータニ佐賀）			
⑦新年祝賀会員互礼会			
・青森会場（1月7日：ホテル青森）			
・弘前会場（1月8日：弘前パークホテル）			
・八戸会場（1月9日：八戸プラザホテル）			



13. 評議員会及び監査

令和7年度における評議員会及び監査の開催状況は次のとおりである。

(1) 評議員会

① 臨時支部評議員会

開催方法 文書審議（5月8日承認）

審議議案 副支部長の選出について

② 第170回支部評議員会

開催年月日 令和7年6月9日（月）

開催場所 日本赤十字社青森県支部 大会議室

出席状況 評議員 22名

小谷知也副支部長／島浩之副支部長／若佐谷典人監査委員／

高橋文雄監査委員

議長 小谷副支部長

審議議案

1. 令和6年度 日本赤十字社青森県支部 事業報告及び一般会計歳入歳出決算について

2. 令和6年度 はまなす医療療育センター 事業報告及び社会福祉施設特別会計歳入歳出決算について

3. 令和6年度 八戸赤十字病院 事業報告及び医療施設特別会計歳入歳出決算について

4. 令和6年度 日本赤十字社青森県支部 一般会計歳入歳出補正予算(案)について

報告

令和6年度 青森県赤十字血液センター 事業報告について

③ 臨時支部評議員会

開催方法 文書審議（10月10日承認）

審議議案 任期満了に伴う監査委員の選出について

④ 第171回支部評議員会

開催方法 文書審議（2月13日承認）

審議議案

1. 令和8年度 日本赤十字社青森県支部 事業計画（案）及び一般会計歳入歳出予算（案）について

2. 令和8年度 はまなす医療療育センター 事業計画（案）及び社会福祉施設特別会計歳入歳出予算（案）について

3. 令和8年度 八戸赤十字病院 事業計画（案）及び医療施設特別会計歳入歳出予算（案）について

4. 令和7年度 八戸赤十字病院 医療施設特別会計歳入歳出補正予算（案）について

5. 辞任に伴う代議員の選出について

報告

令和8年度 青森県赤十字血液センター事業計画（案）について

(2) 監査

令和6年度決算監査

施 設 名	実 施 方 法 等	監査委員
日本赤十字社青森県支部	実地監査（5月20日）	若佐谷 典人 高橋 文雄
青森県赤十字血液センター	実地監査（5月20日）	
八戸赤十字病院	実地監査（5月22日）	
青森県立はまなす医療療育センター	実地監査（5月26日）	



14. 令和7年度一般会計・特別会計決算報告

(1) 一般会計

事業費目	金額 (円)
支部収入	
社 資 収 入	163,416,425
委 託 金 等 収 入	0
補 助 金 及 び 交 付 金 収 入	4,027,329
災 害 義 援 金 預 り 金 収 入 (令和7年青森県東方沖地震義援金)	42,264,618
繰 入 金 収 入	27,068,256
資 産 収 入	11,786,600
雑 収 入	4,995,988
前 年 度 繰 越 金	18,592,169
収 入 合 計	272,151,385

事業費目	金額 (円)
支部費	
災害救助活動及び救護資材の整備	8,369,754
赤 十 字 看 護 師 の 養 成 費	2,038,380
献 血 普 及 ・ 管 下 施 設 の 指 導	128,659
救急法・健康生活支援講習等普及	6,029,125
赤十字奉仕団の普及と育成強化	5,558,534
青少年赤十字の普及と育成強化	4,709,429
社 会 福 祉 活 動	5,763
国際救援活動と国際開発協力事業	923,242
地 区 ・ 分 区 の 運 営	14,168,985
赤 十 字 社 員 の 整 備 と 増 強	11,418,726
赤十字思想の普及と広報活動	6,439,560
本 社 の 活 動 推 進	23,824,713
施 設 繰 り 出 し ・ 補 助 金	2,939,464
資 金 積 立	0
令和7年青森県東方沖地震義援金(配分委員会送金)	42,264,618
支 部 の 運 営 管 理	132,249,781
支 出 合 計	261,068,733

収入支出差引額(翌年度繰越)	11,082,652
----------------	------------

(2) 社会福祉施設特別会計

収 入 の 部	金 額 (円)
受 託 事 業 収 入	855,628,075
そ の 他 の 事 業 収 入	430,143
経 常 経 費 寄 附 金 収 入	0
受 取 利 息 配 当 金 収 入	0
そ の 他 の 収 入	321,735
他 会 計 繰 入 金 収 入	1,075,680
そ の 他 の 活 動 に よ る 収 入	4,331,940
前 期 末 支 払 資 金 残 高	16,163,517
収 入 合 計	877,951,090

支 出 の 部	金 額 (円)
人 件 費 支 出	651,570,633
事 業 費 支 出	86,806,495
事 務 費 支 出	83,906,951
支 払 利 息 支 出	183,037
そ の 他 の 支 出	313,030
固 定 資 産 取 得 支 出	666,050
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,547,063
他 会 計 繰 入 金 支 出	1,075,680
そ の 他 の 活 動 に よ る 支 出	36,045,517
支 出 合 計	864,114,456

収 入 支 出 差 引 額	13,836,634
---------------	------------

(3) 医療施設特別会計

① 収益的収入及び支出

事業費目	金額 (円)
収入	
医療収益	10,933,383,010
医療外収益	432,860,456
医療社会事業収益	300,000
付帯事業収益	0
特別利益	1,310,117
計	11,367,853,583
事業費目	金額 (円)
支出	
医療費用	11,069,658,885
医療外費用	68,249,289
医療奉仕費用	63,733,861
付帯事業費用	0
特別損失	29,060
法人税等	2,127,996
計	11,203,799,091
収入支出差引額	164,054,492

② 資本的収入及び支出

事業費目	金額 (円)
収入	
固定負債	98,847,672
資産売却収入	0
その他資本収入	561,668,119
計	660,515,791
事業費目	金額 (円)
支出	
固定資産	211,031,722
借入金等償還	449,484,069
計	660,515,791
収入支出差引額	0



15. 支部役員・評議員

(1) 支部役員・本社役員

役 職 名	氏 名	公 職 等
支 部 長	宮 下 宗一郎	青森県知事
副 支 部 長	小 谷 知 也	青森県副知事
同	島 浩 之	弘前市社会福祉協議会会長
同	熊 谷 雄 一	八戸市長
本 社 理 事	成 田 耕 造	青森県赤十字有功会副会長、株式会社成田本店取締役会長
本 社 代 議 員	成 田 耕 造	青森県赤十字有功会副会長、株式会社成田本店取締役会長
同	村 井 達	青森県赤十字有功会会長、八戸赤十字病院運営審議会会長
同	高 橋 文 雄	青森県支部監査委員
監 査 委 員	西 村 博	税理士
同	加 川 史	元つがる市商工会事務局長
同	高 橋 文 雄	元弘前市健康福祉部長、本社代議員

(2) 評議員（選出区分） ※任期：令和7年2月14日～令和10年2月13日

加 川 史（青森市地区）	小 鹿 秀 敏（東津軽地区）
鶴 賀 晃（青森市地区）	宮 本 はる枝（西北地区）
佐 藤 正 則（青森市地区）	佐 藤 靖 子（西北地区）
高 橋 文 雄（弘前市地区）	三 上 文 子（中南地区）
小 柳 紀八郎（弘前市地区）	鈴 木 勇（中南地区）
阿 部 昌 宏（八戸市地区）	木 明 昭一郎（上北地区）
田 邊 伸 子（八戸市地区）	原 子 スワ子（上北地区）
檜 山 義 則（八戸市地区）	原 子 恒 子（下北地区）
北 山 リ ヅ（黒石市地区）	井 上 悦 子（三戸地区）
小 関 光 雄（五所川原市地区）	中 村 正（三戸地区）
畑 中 チ ヨ（十和田市地区）	村 井 達（支部長）
高 橋 博 美（三沢市地区）	太 田 直 樹（支部長）
石 倉 司（むつ市地区）	成 田 耕 造（支部長）
鶴 賀 善 宏（つがる市地区）	沼 田 弘 子（支部長）
小笠原 勝 則（平川市地区）	小 島 史 靖（支部長）

（定数30名）

長期ビジョンを道標として、「人間のいのちと健康、尊厳が守られる」世界へ。

日本赤十字社は、1877年の博愛社創設時より、国内外での戦時救護、災害救護活動をはじめ、医療事業や血液事業、社会福祉事業など、時代のニーズに応え様々な活動を展開してきました。創立から140年が経過し、人口構造の変化・グローバル化・ICT化・気候変動等が進む中で、多様で新しい人道問題も次々に生まれてきています。

こうした急速に変化する社会において、より柔軟かつ的確に人道ニーズに対応できる赤十字への変革が求められ、これまでの常識や経験、考え方にとらわれずに、新たな課題に果敢にチャレンジしていく必要があります。

この長期ビジョンを道標として、私たち一人ひとりが自らの発想と意志を持って活動に取り組み、どのような状況にあっても「人間のいのちと健康、尊厳が守られる」世界を目指していきたい。変わりゆく未来へ、赤十字の挑戦です。

— 「日本赤十字社 長期ビジョン」全体像 —

日本赤十字社が 取り組む社会課題

- 災害や紛争から人々が守られる社会づくり
- 人々の健康・福祉を支える地域づくり
- 互いを思いやり、助け合い、尊重し合う社会づくり

目指す姿

国内外における人道支援活動の“要”となり、
わが国の地域医療・血液事業の中核を担う赤十字

新たなステージへの行動指針

- 支援を受ける側に立った想像力の発揮
- 事業間・施設間の連携による相乗効果の発揮
- 先進技術を生かした事業展開
- 「選択と集中」の徹底
- 赤十字ネットワークを活用した事業推進
- 行政や関係団体、企業、大学等との連携強化
- ビッグデータ等を活用した事業推進

長 期 戦 略

— 事業戦略 —

災害や紛争時における
支援の充実とレジリエンスの強化

超少子高齢社会における
地域の健康・安全な生活の追求

多様化が進む社会における
人道の輪の拡大

— 運動基盤強化戦略 —

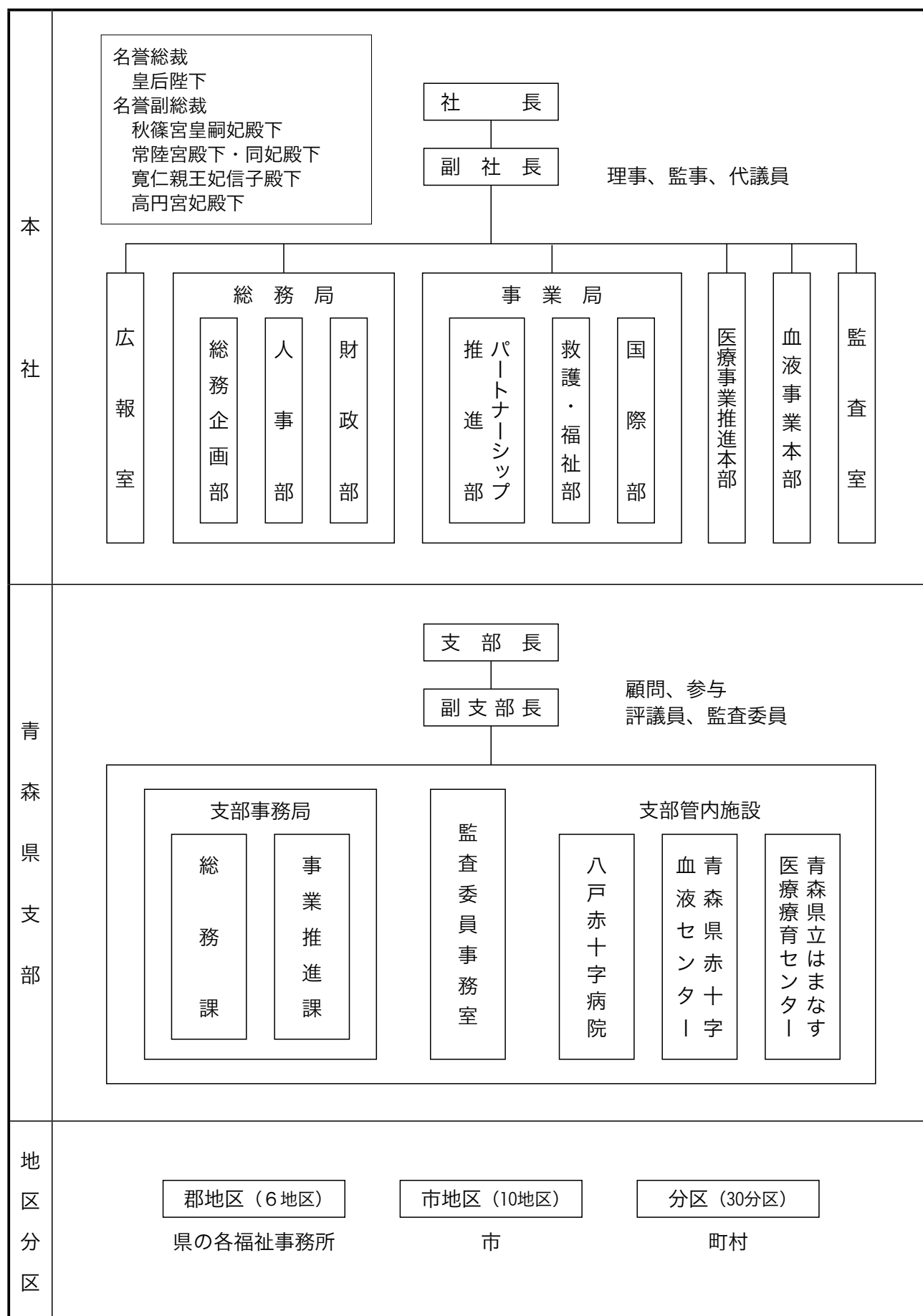
会員の赤十字運動への参画促進

奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充

国際赤十字との更なる協働

日本赤十字社の組織と機構

(令和8年4月1日 現在)



日本赤十字社青森県支部現勢

1. 沿革

明治20年(1887)12月28日 日本赤十字社青森県委員部設立
明治28年(1895)12月28日 日本赤十字社青森支部に改称
昭和27年(1952)10月 日本赤十字社青森県支部に改称

2. 役員

支部長 宮下 宗一郎
副支部長 小谷 知也、島 浩之、熊谷 雄一
本社理事 成田 耕造
本社代議員 成田 耕造、村井 達、高橋 文雄
支部監査委員 西村 博、加川 史、高橋 文雄

3. 評議員 (令和8年3月31日現在) 30人

4. 赤十字会員数 (令和8年3月31日現在) 個人 2,732人／法人 625社

5. 青森県赤十字有功会員 (令和8年3月31日現在) 個人 145名／法人 142社・団体

6. 災害等救護

救護班(令和8年3月31日現在)	8班 56名
無線局(同上)	基地局 6／移動局 39
救援車輛(同上)	5台
受付義援金(同上)	689件 46,640,983円
配付救援物資(令和7年度)	毛 布 139枚
	緊急セット 122個

7. 講習普及活動 (令和8年3月31日現在)

区 分	講習回数	受講者数	指導員数
救 急 法	161回	5,585人	106人
水 上 安 全 法	29回	1,645人	28人
健康生活支援講習	13回	390人	10人
幼 児 安 全 法	23回	539人	20人
合 計	226回	8,159人	164人

※指導員養成講習を除く

8. 赤十字奉仕団 (令和8年3月31日現在)

区 分	団 数	登 録 数
地 域	46団	5,233人
青 年	4団	107人
特 殊	8団	576人
合 計	58団	5,916人

9. 青少年赤十字 (令和8年3月31日現在)

区 分	加盟登録数	登録人数
幼稚園・保育園	165園	7,278人
小 学 校	75校	11,109人
中 学 校	42校	6,678人
高 等 学 校	35校	612人
特別支援学校	3校	308人
合 計	320校	25,985人

指導者数 3,755人

10. 国際活動

- ・第1ブロック支部共同事業
ラオス救急法普及支援事業
バヌアツ青少年赤十字海外支援事業
ルワンダ気候変動等レジリエンス強化事業
アフガニスタン気候変動対策事業
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン

11. 肢体不自由児施設

青森県立はまなす医療療育センター

医療型障害児入所施設・療養介護事業		医療型児童発達支援センター	
肢 体 不 自 由	42床	障害児(通所)	40名
重症心身障害	40床		

12. 医療施設

八戸赤十字病院 病床総数 407床 (一般374床、精神33床休床)

総患者数 (令和7年度)		一日平均患者数 (令和7年度)	
入院患者	110,957人	入院患者	304.0人
外来患者	144,848人	外来患者	601.人

13. 血液事業

青森県赤十字血液センター

施設数		車両台数(令和8年3月31日現在)	
血液センター	1箇所	献 血 バ ス	4台
出 張 所	3箇所	献血運搬車両	16台
献血者数 (令和7年度)		供給本数(200mL換算)(令和7年度)	
200mL	905人	全 血 製 剤	0本
400mL	30,575人	赤血球製剤	71,219本
血 漿 成 分	6,594人	血 漿 製 剤	22,579本
血小板成分	5,042人	血小板製剤	96,110本
合 計	43,116人	合 計	189,908本

14. 施設及び職員数

区 分	職 員 数
支 部	11人
八 戸 赤 十 字 病 院	588人
青森県赤十字血液センター	61人
はまなす医療療育センター	94人
合 計	754人

・嘱託、臨時職員等除く

15. 会計 (令和8年度当初予算)

：千円

一般会計	歳 入	歳 出
支 部	232,500	232,500
社会福祉施設特別会計		歳 出
はまなす医療療育センター	1,013,890	1,010,550
医療事業特別会計		収益的支出
八 戸 赤 十 字 病 院	11,550,194	11,689,832

- ・血液センターは各ブロックを会計単位としているため省略。
- ・特に断りのない統計数字等は、令和8年4月1日現在。

日本赤十字社青森県支部管下施設一覧

日本赤十字社青森県支部

〒030-0861 青森市長島1丁目3番1号

TEL 017-722-2011 FAX 017-735-3502

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/aomori/>

八戸赤十字病院

〒039-1104 八戸市大字田面木字中明戸2

TEL 0178-27-3111 FAX 0178-27-3121

ホームページ <http://www.hachinohe.jrc.or.jp/>

日本赤十字社青森県支部受託 青森県立はまなす医療療育センター

〒031-0833 八戸市大字大久保字大塚17-729

TEL 0178-31-5005 FAX 0178-31-4144

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/aomori/>（青森県支部ホームページ内）

青森県赤十字血液センター

〒030-0966 青森市花園2-19-11

TEL 017-741-1511 FAX 017-741-1517

ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/aomori/index.html>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和7年度 事業年報
